

玉名市総合計画 後期基本計画進捗状況報告

(主要施策の概要に係る平成28年度末の進捗状況報告)

平成29年10月

玉名市役所 企画経営課

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)				
基本目標(事)	主要施策(節)	施策区分(細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
							項目	内容
1 便利で快適なまちづくり	1 道路交通体系の整備	1 広域交通ネットワークの整備	11111	玉名バイパスは、今後、交通量を考慮しながら4車線化に向けた完全整備を促進していきます。	玉名バイパスは、今後も交通量を考慮しながら4車線化に向けた完全整備を促進する。	6. 未着手	未着手の理由	早急な整備の必要性がなく、将来交通量等を考慮しながら、事業者手については十分検討する必要があるため。
			11121	今後も利便性の高いアクセス道路の整備に努めます。	新玉名駅や新幹線の利用者増加を図るため、県道・市道を含め利便性の高いアクセス道路の整備に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	新玉名駅への利便性向上のため、周辺道路の整備促進について、県道の玉名立花線等の道路研究会の要望活動により、玉名バイパス以南の具体的なルート案について決定し事業者着手された。
			11122	県道(仮称東西道路)については、早急に県道玉名八女線まで接続できるように県道の連携を強化し、整備を促進していきます。	新玉名駅から県道玉名八女線にアクセスする県道(仮称東西道路)は、計画延長約950mのうち約500mを供用中、残りの450mも早期完成に向け促進する。	1. 達成(完了)	状況の説明	新玉名駅から県道玉名八女線にアクセスする県道(仮称東西道路)は、計画延長約950mが開通した。そのため達成した。
			11131	利便性が高く持続可能な交通体系の構築を目指します。	平成24年度中に、地域公共交通総合連携計画を策定する。平成25年度以降は、当該計画に基づき公共交通の再編成を実施し、効率的で利便性が高い公共交通体系の構築を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	地域公共交通総合連携計画に基づき、「公共交通で実現させる便利で快適なまちづくり」の実現に向け、バス路線の運行効率化、公共交通不便地域の解消、既存公共交通の利便性向上、公共交通の利用促進に努めている。平成28年10月には交通事業者と協議の下、バス路線の再編を実施し、運行効率化を図った。
			11141	広域幹線道路である国道や県道については、事業の促進に向けた積極的な要望活動を展開します。	広域幹線道路である国道や県道は、事業の促進に向けた積極的な要望活動を展開する。	8. 評価不能	評価不能の理由	国道及び県道などの道路整備に関する事業促進については、国及び県主体の事業であり、要望箇所が多岐にわたるため一概に評価することが難しいため。
			11151	有明海沿岸道路(Ⅱ期)の熊本市～大牟田市間については、候補路線から「計画路線」への指定に向けた積極的な要望活動を展開します。	有明海沿岸道路(Ⅱ期)の「計画路線」への指定に向け要望活動を展開する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	有明海沿岸道路建設促進熊本県期成会及び有明海沿岸「荒尾・玉名地域」整備促進期成会において、国の関係機関へ継続して要望活動をおこなった。
			11221	都市計画道路の整備は、平成19年度に見直した都市計画道路路網の整備計画に沿って計画的、効率的に実施します。	都市計画道路の整備は、現在、66.14%の整備率である。残る未整備路線は、計画的・効率的に整備を進める。また、隣接市町を跨る路線の整備の可否について、関係市町と調整中であるため、平成25年度中に方向性を決定する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	都市計画道路20路線中13路線において、路線の一部改良・構成済みも含めて67.49%の整備率となっている。継続して計画的・効率的な整備を行っている。
			11231	国道209号から市民会館を經由し温泉地区を結ぶ市道立願寺横町線は、平成24年度末の全線供用開始を目指して整備します。	市道立願寺横町線は、本市の中心市街地を形成する「玉名温泉地区」と「高瀬地区」を結び、沿線には国の合同庁舎、市民会館や新庁舎の建設予定位置などの公共施設が集積する重要な幹線道路であり、施工延長585m(外1線含)の整備を進める。	1. 達成(完了)	状況の説明	市道立願寺横町線は、本市の中心市街地を形成する「玉名温泉地区」と「高瀬地区」を結び、沿線には国の合同庁舎、市民会館や新庁舎の建設予定位置などの公共施設が集積する重要な幹線道路であり、施工延長585m(外1線含)の整備を進めた。
			11241	平成27年度末全線供用開始を目標に市道岱明玉名線を整備します。	市道岱明玉名線は、国の予算削減に伴い完成目標年度が平成27年から平成30年に変更となる。関係機関とも協議を行い一つ一部工事を実施している。	3. 進行中(後半)	状況の説明	国の予算削減に伴い完成目標年度を平成32年度に変更した。国道208号南側の交差点区間を除く一部道路改良区間の施工が完了した。また、踏切橋の工事についてJRと協議をおこなった。
			11251	市道玉名駅平嶋線の整備を検討します。	市道玉名駅平嶋線は、玉名バイパスと国道208号線の南北を結ぶ幹線道路として位置づけられた路線であり、平成23年度の玉名駅の開業や玉名バイパス開通による都市環境や交通環境の変化等も踏まえ、事業の必要性を検討する。	6. 未着手	未着手の理由	県が施工する境川改修計画の進捗状況を踏まえ、事業者手について必要性を検討する必要があるため。
		11261	危険性が高いJR踏切の拡幅改良については、JR九州と協議のうえ、道路改良と一体的に推進します。	現在砂天神踏切及び鹿の踏切について、JRと協議を進め拡幅改良に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	JR砂天神踏切の拡幅工事が完了した。	
		11271	生活道路路網は、舗装・新設・改良・側溝改良などの計画的な整備を図り、市民の利便性の向上と安全の確保に努めます。	生活道路路網は、舗装・新設・改良・側溝改良など、計画的に生活道路路網の整備を図り、市民の利便性の向上と安全の確保に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	各区からの要望を踏まえ、予算の範囲で工事発注等しながら市民の利便性の向上及び安全安心の向上に努めている	
		11321	JR鹿児島本線より南部方面からの中心市街地への交通アクセス機能の向上を推進します。	部分的に道路改良等をおこない、JR鹿児島本線より南部方面からの中心市街地への交通アクセス機能の向上に向け事業を進める。	8. 評価不能	評価不能の理由	交通アクセス機能の向上には、都市計画道路や市道改良等の複数の事業により効果が図られるものであるため、評価が困難である。	
		11322	岱明玉名線の整備は、関係機関の理解を得ながらその取組を推進します。	岱明玉名線の整備は、国の予算削減に伴い完成目標年度が平成27年から平成30年に変更する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	国の予算削減に伴い完成目標年度を平成30年度から平成32年度へ変更した。	
		11323	南廻りバイパス(仮称)などの整備は、関係機関の理解を得ながらその取組を推進します。	都市の外環状の形成に資する南廻りバイパス(仮称)などの整備は、関係機関の理解を得ながら取組を推進する。	6. 未着手	未着手の理由	関係機関や地域住民意向などを踏まえ、事業の必要性を考慮しながら検討する必要があるため。	
		11331	市道小浜紫根木線の道路拡幅や砂天神踏切の拡張を図ります。	小島橋を利用する市民の利便性の向上に資するため、市道小浜紫根木線の道路拡幅や砂天神踏切の拡張を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	JR砂天神踏切の拡幅工事及び一部区間の道路拡幅工事をおこなった。	
		11332	松木地区、六田地区のその他の道路改良に努めます。	小島橋を利用する市民の利便性の向上に資するため、松木地区、六田地区のその他の道路改良を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	市道小浜紫根木線と市道松木14号線の交差点改良をおこなうため、関係機関との協議をおこなった。	
		12112	新玉名駅周辺の開発については、周囲の田園風景との調和にも配慮した景観の形成に努めます。	新玉名駅周辺整備構想区域に進出しようとする事業者があった場合は、周囲の景観との調和に配慮するよう事業者に要請する。	8. 評価不能	評価不能の理由	平成28年3月末に玉名市景観条例が施行し、景観行政団体に移行した。並行して平成28年9月に「玉名市景観計画」が策定され、同計画の中で新玉名駅周辺は周囲の田園風景との調和が図られるよう、一般区域よりも強い独自の景観形成基準を定めた「景観形成推進地区」と位置づけられている。	

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)							
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	期日	実施地	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)			
								項目	内容		
1	バス路線網の整備	1	1	12113	新玉名駅の駐車場は、目的に沿った利用の指導や、規模の再検討も視野に入れた有効策の実施に努めます。	新玉名駅の駐車場は、目的に沿った利用の指導に努めるとともに、規模の再検討も視野に入れた有効策の実施に努める。	5. 着手	状況の説明	新玉名駅の西側を平成28年度より着手し、駐車場の整備を行い、駐車場の混雑解消を図っている。		
				12211	路線バスの運行や利用の状況、地域住民の意向調査など地域交通の実態把握に努めます。	平成24年度中に、路線バスを含む市内公共交通の実態や利用状況等について、事業者や利用者へのヒアリング、アンケート調査を実施し、地域公共交通総合連携計画を策定する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成25年3月に「玉名市地域公共交通総合連携計画」を策定し、同計画に基づき関係機関と連携しながら事業を実施中。		
				12212	今後の人口構造や社会構造の変化なども踏まえた地域公共交通のあり方を検討します。	今後の公共交通のあり方を示した地域公共交通総合連携計画を平成24年度に策定する。非効率なバス路線の見直し、交通空白地域の解消、わかりやすいバス路線の実現などを計画期間中(平成29年度まで)に行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年10月に、交通事業者との協議の下、市中心部におけるわかりやすいバス路線への再編及び需要が見込める交通空白地域の解消を図るため「市街地循環バス」を新規導入した。		
				12213	交通空白地域の解消を図りながら、財政負担にも配慮した持続可能な交通体系の構築を目指します。	平成24年度に地域公共交通総合連携計画を策定し、同計画に基づき交通空白地域の解消を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	交通空白地域のうち、一定の需要が見込める地域については平成28年10月に新規導入した「市街地循環バス」により解消した。他の交通不便地域の公共交通の導入については未着手である。		
		2	1	12221	阿蘇方面につながる広域観光バスの運行については、実現に向けて運行事業者に対する働きかけを実施します。	事業者の自主運行を基本として、広域観光バスが実現するよう関係機関に対して働きかけを実施する。	6. 未着手	未着手の理由	玉名市地域公共交通総合連携計画に基づく事業を重点的に推進しているところであり、必要性を求めた意見も取りこみを行っていない。		
				12231	バス路線網の整備に当たっては、危険箇所や道路幅員などの調査を実施し、走行性と安全性の確保を図ります。	バス事業者等と連携の上、バス路線上の危険箇所を調査し、関係機関に対して安全確保に向けた措置を働きかける。	1. 達成(完了)	状況の説明	「市街地循環線」の導入に当たり、運行ルート、停留所等を設定する際は、交通事業者、警察、道路管理者等と現地調査を実施し安全性を確保した。		
		3	魅力ある住環境の整備	1	定住化などの推進	13111	優良な民間企業の住宅開発の誘導に努めます。	民間の住宅開発が行われるよう、行政としてできることは何かを検討する。	6. 未着手	未着手の理由	優良な民間企業の住宅開発の誘導に対する優先度が低かったため。
						13121	『玉名市スマイル構想』(定住化基本構想)に掲げる施策の実現に努めます。	関係機関との調整や働きかけ等により、構想に掲げた施策の実現を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明	『玉名市スマイル構想』は、平成27年度を取組最終期として設定しており、平成27年度末で概ね達成していた事業について、継続して実施した。
				2	公営住宅の整備	13211	公営住宅の建設や老朽化が著しい既設公営住宅などの改修は、『玉名市公営住宅等長寿命化計画』に沿って計画的に実施します。	公営住宅等ストックの適切なマネジメントを行い、団地別・住棟別の活用方法を定め、安全で快適な住まいを確保する。長寿命化計画に沿って計画的に実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	公営住宅の安全で快適なストック確保のため、[玉名市公営住宅等長寿命化計画]に沿って、ストック総合改善事業により職室団地の給排水・電気設備改修工事や、横枕、八重団地の外壁改修工事や古閑団地の給湯管改修工事を実施した。(計9件、事業費78,484千円)桜谷団地の外壁改修工事も予定されていたが、入札辞退が続いたため、工事は平成29年度実施。
						14111	現在(H23年度)の緑地水準を維持し、適切な公園管理を実施します。	現在の緑地水準を維持し、公園、緑地を憩いの場として、安全、安心に利用できるように日常の管理や遊具施設の修繕などを行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	都市公園・緑地を安全安心に利用出来るよう維持管理を行い、また、職員による定期的な点検により修繕・更新等を行っている。
		4	公園・緑地等の整備	1	公園・緑地の整備	14121	総合公園と運動公園は、地域住民の憩いの場、レクリエーション、コミュニティ活動や災害時の広域避難場所として位置づけ計画的な整備を図ります。	総合公園と運動公園は、地域住民の憩いの場、レクリエーション、コミュニティ活動ができるように公園管理を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	桃田運動公園並びに蛇ヶ谷公園は、平成29年度より指定管理者での管理を行っている。
						14131	老朽化した公園は再整備を図ります。	市民の憩いの場となる公園は、平成21年度から25年度までの5年計画で安全・安心に利用できる公園を目標に改築更新を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	公園再整備事業は、平成21年度～平成25年度を完了し、引き続き、平成26年度～平成30年度年度までの2期目に入り再整備を図っている。
14132	地域住民による公園管理も支援します。					広く市民の方に利用されている都市公園を地域住民による環境美化を委託し公園管理を支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	都市公園・緑地(38箇所)については、地域住民による維持管理を実施している。		
14211	玉名21の星事業を推進し、これを継承していく人材の育成を支援します。(※花づくりによるまちづくりに限る)					花づくりを実施するまちづくり委員会に対して、可能な支援を実施する。21の星事業が終了する平成26年度以降について、地域づくり団体を支援する新たな施策を検討する。	1. 達成(完了)	状況の説明	玉名21の星事業が完了した後に創設した「キラリかがやけ玉名づくり応援事業補助金」を活用して、平成28年度は4団体が地域の花づくりを実施した。		
5	まちなみの景観形成	1	都市景観の形成	15111	中心市街地においては、建物や商業施設の形態、色彩、看板などについて、景観形成基準の設定も視野に入れ、調和のとれた統一感のあるまちなみ景観の形成を推進します。	都市景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年6月に景観行政団体となり「玉名市景観計画」を策定した。景観の将来像「菊池川に育まれた味わい深い景観をかたるまち」の実現に向けて市民への周知活動をおこなった。		
				15211	菊池川をはじめとする河川や山並みの景観形成は、自然の風景を十分配慮した修景整備を実施し、都市の潤い空間として自然景観が阻害されないよう保全を図ります。	自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年6月に景観行政団体となり「玉名市景観計画」を策定した。景観の将来像「菊池川に育まれた味わい深い景観をかたるまち」の実現に向けて市民への周知活動をおこなった。		
6	美しい景観都市玉名の実現	1	美しい景観都市玉名の実現	15311	行政とまちづくり団体が連携して豊かな景観形成を推進します。	行政とまちづくり団体が連携して豊かな景観形成を推進するため、都市景観や自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年6月に景観行政団体となり「玉名市景観計画」を策定した。景観の将来像「菊池川に育まれた味わい深い景観をかたるまち」の実現に向けて市民への周知活動をおこなった。		
				15312	地域の景観は地域で守り育てるという市民意識の高揚に努め、「美しい景観都市玉名」の実現を目指します。	地域の景観は地域で守り育てるという市民意識の高揚に努め、「美しい景観都市玉名」の実現を目指すため、都市景観や自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年6月に景観行政団体となり「玉名市景観計画」を策定した。景観の将来像「菊池川に育まれた味わい深い景観をかたるまち」の実現に向けて市民への周知活動をおこなった。		
7	情報・通信基盤の整備	1	情報基盤・通信ネットワークの整備	16111	市光ファイバー網幹線の電線共同溝への入溝などによる災害や事故に備えます。	国土交通省施工の電線共同溝工事(通信分)が平成24.2月末にて完了し、本市移設を平成24.4.28～4.30にて約1,575mの共同溝への敷設、電柱へ添架している光ケーブル撤去を行う。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成24年度に完了した国土交通省施工の電線共同溝工事(通信分)が平成24.2月末にて完了し、本市移設を平成24.4.28～4.30にて約1,575mの共同溝への敷設、電柱へ添架している光ケーブル撤去を行った。		

五名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)					
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	期	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
				16112	万が一の場合にも業務への影響がないようバックアップ回線を設置します。	本市ネットワークは、自設光ファイバケーブルにより本庁・各支所・外局施設を接続している。災害・事故等により光ファイバの断線により市民サービス及び業務停止が無く、通信事業者が提供している通信網をバックアップ回線として利用することにより業務継続を目的とし整備を行う。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成24年度に完了 本市ネットワークは、自設光ファイバケーブルにより本庁・各支所・外局施設を接続している。災害・事故等により光ファイバの断線により市民サービス及び業務停止が無く、通信事業者が提供している通信網をバックアップ回線として利用することにより業務継続を目的とし整備を行った。
				16121	外部ネットワークとの接続に際し、ファイアウォールなどによる不正侵入などの防止を図ります。	外部(インターネット)から内部(市ネットワーク)への不正侵入等による盗み見・改ざん・破壊を防止することにより、内部ネットワークの安全を維持する。	1. 達成(完了)	状況の説明	セキュリティの強化対策において、H29.3.14日よりインターネット接続方法を熊本県セキュリティクラウドへ接続変更を行ったことにより、外部からの不正侵入等強固なセキュリティ対策を講じた方法への変更を行い運用を行っている。また、内部ネットワークでも業務系と情報系の切り分けを行った。
				16122	職員への市セキュリティポリシーの周知・徹底を実施し情報漏えいなどインシデント防止を図ります。	情報セキュリティを取巻く脅威や対策は常に変化してきている。五名市セキュリティ委員会を主催し、職員研修及び情報セキュリティ監査の計画、実施、報告を行い、PDCAサイクルによる強固なセキュリティ対策に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	市情報セキュリティポリシーの見直し(PDCAサイクル)、市情報セキュリティ委員会の開催、職員並びに全臨時職員等へのセキュリティ研修の実施を行った。 なお、情報セキュリティ対策について完了することはない。
				16131	サーバ機器保守期限となる平成27年度に予定するシステムの更新のため、平成25年度をめどに再評価を実施し更新に備えます。	サーバ機器保守期限となる平成27年度システム更新予定に向けて、既存システムの再評価を行い、次期システムを検討し平成27年度までに次期システム、サーバ機器導入を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成27年度に保守期限が到来する基幹業務システムのサーバ機器等の更改を行った。
				16132	アプリケーションソフトなどを充実(各種行政システムの導入)することにより、情報サービスの充実を図ります。	各電算システムのバックアップ、改修、業者作業管理、障害対応、原課からの電算システム使用に関する問い合わせ対応、必要な資料の作成、システム権限の付与等を行い情報システム運用の充実を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成28年度は、電算システムの保守管理を行い、システム及びサーバ機器の定期的な保守点検を実施した。また、障害発生時の早急な対応や原課からの質疑事項、資料作成等の対応を行い情報システム運用の充実を図った。
				21111	県と連携した地下水採取量調査や地下水定期モニタリング水質検査を実施します。	県が実施する地下水採取量調査や地下水水質検査に係る対象者への文書発送、連絡調整、調査票の回収等を毎年度行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年度においても県が実施する地下水採取量調査や地下水水質検査に係る対象者への文書発送、連絡調整、調査票の回収等を行った。
				21112	地下水の汚染防止と保全対策を推進します。	熊本県有明保健所が毎年行われる、市内17箇所の地下水調査に協力する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年度においても熊本県有明保健所が実施する地下水測定計画に基づく市内17箇所の水質調査に協力を行った。
				21211	菊池川流域同盟の活動について、水質調査、清掃事業、水援隊事業のほか、「菊池川の日」の制定意義を内外にアピールします。	毎年、「菊池川の日」事業等の河川環境啓発を行い、菊池川流域同盟加入9市町においていっせいに河川水質検査において水質の改善を目指す。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年度は、水系矢護川上流の太津の森下幸利や河川水援隊員の先遣地視察研修、菊池川流域同盟構成9市町一斉による河川水質調査及び事業所排水調査を行い、河川浄化の啓発を行った。
				21212	廃油石けん作りコンテストや子どもへの環境学習を取り入れたイベントなどを積極的に実施し、市民の水質浄化意識の向上に努めていきます。	菊池川流域同盟の「菊池川の日」事業において積極的に廃油石けんや河川水質に関する展示を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年度以降の菊池川の日事業については、隔年実施となったため、平成28年度は未実施であった。このため、例年どおり広報紙による河川水質検査の公表を行った。
				21221	菊池川流域同盟の環境保全活動を核とする「環境の先進地、環境立都 五名」をインターネットなどメディアを通じ、全国へ情報発信します。	広報やインターネット等のメディアを通じ情報を発信する今後提供する情報の種類を増加させる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	ホームページやブログにより、菊池川流域同盟の活動や流域自治体の水質情報、菊池川流域一斉水質検査結果などを発信した。
21231	市民へ生活排水路の定期的な清掃を奨励し水質浄化や美観を維持保全することで、河川の環境保全を推進します。	排水路に限らず区役所のボランティア活動にて清掃活動をする場合には、ボランティア袋の提供などを行い環境保全に役立てる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	河川敷や公園、道路の清掃等のボランティア活動を実施する団体にボランティア袋の提供を行った。				
				21311	森林は、景観保全、地下水かん養などの面から開発との調和を図りながら自然環境の保全に努めます。	水源かん養、生物多様性保全など重視すべき森林の機能に応じた森林整備を図るため、五名市森林整備計画に基づき保安林の指定やその適切な管理により自然環境の保全を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	山砂採取等の林地開発が見受けられ、それが五名市森林整備計画に適合するかを見極めながら、自然環境の保全と開発の調和を図るとともに、無届での林地開発及び伐採がないか巡回指導を実施している。
				21411	様々な公害に対する情報把握に努めるとともに、市民の不安を解消し、苦情などの処理には迅速に対応します。	快適な市民生活を脅かす様々な公害の苦情申立てがあった場合、速やかに情報収集に努め、迅速に対応し、市民不安の解消に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	市民からの公害苦情処理や雑草の繁茂に関する苦情処理を行った。大気1件、騒音1件、悪臭1件、水質9件、悪臭1件、雑草の繁茂など20件の計34件の処理を行い、市民の不安解消に努めた。
				21421	環境の保全や創造について基本理念を定めるため、平成26年4月1日施行を目標に「環境基本条例(仮称)」を制定する。	環境の保全や創造について基本理念を定めるため、平成26年4月1日施行を目標に「環境基本条例(仮称)」を制定する。	1. 達成(完了)	状況の説明	環境の保全や創造について基本理念を定めるため、「五名市環境基本条例」を平成26年4月1日に施行した。
				21422	市民一人ひとりの環境美化に対する意識を高めるための環境基本条例(仮称)の制定に努めます。	市民一人ひとりの環境美化に対する意識を高めるため、五名市環境美化に関する条例を制定する。	1. 達成(完了)	状況の説明	市民一人ひとりの環境美化に対する意識を高めるため、「五名市環境美化に関する条例」平成24年6月1日に施行した。
				22111	地域や学校への環境学習の出前講座を実施します。	市民一人ひとりの環境保全意識を高めることが快適な生活環境の確保につながるため、環境学習講座を年1回以上行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成28年度の環境学習は、小田、睦合、玉水、錦、八喜の5小学校の4年生児童と担任103名を東部環境センター及びグリーンパークファイブに引率し、ごみの減量とリサイクル学習を実施、環境保全意識を高めた。
				22112	家庭などにおけるグリーン購入やリサイクル活動の推進を通じて環境保全意識の向上に努めます。	家庭などにおけるグリーン購入やリサイクル活動の推進を通じて環境保全意識の向上のため、ホームページ等で啓発を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	ホームページや広報たまな、ごみカレンダーにおいて、リサイクル活動の推進や家庭におけるグリーン購入を促し、市民の環境保全意識の向上に努めた。
				22121	保育所や幼稚園、小・中学校での環境学習やリサイクル活動、環境美化活動を推進します。	保育所や幼稚園、小・中学校での環境学習やリサイクル活動、環境美化活動を推進するため、環境学習に有用な情報の提供及び環境学習を実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	五名市石貫の繁根木川(興福寺橋)で「川の中の水環境調査」を実施した。親子18名が参加し、水生生物や水質検査を行い、水環境保全についての関心を高めた。
				22131	ISO14001やエコアクション21などの企業の環境活動に対する意識の啓発を推進します。	企業の環境活動に対する意識の啓発を推進するため、平成26年度中にホームページ等で啓発を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	五名市環境基本計画に基づき環境行動指針取組状況自己チェックリストについて、ホームページ等で周知し、市民、事業者に対して提出を促した。
				22211	ホームページなど情報サービス機能を活用し、市民グループやNPOなどの環境保全推進団体の活動実績を紹介し	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう、随時、市広報、ホームページ等で紹介を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう随時、市広報、ホームページ等紹介を行った。

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)						
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	期(年)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)		
								項目	内容	
3	新エネルギーの導入	新エネルギー導入の推進	1	22212	団体の新規結成や既存団体の活動を支援します。	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう、現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	菊池川裏川や紫根木川を美しくするために、ごみの不法投棄等を防止し、環境美化の向上に寄与することを目的に年間を通して除草作業やごみ拾いを行っている2団体に支援を行った。	
				22213	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう支援します。	現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	旧岱明町時代から活動している陸上区生活排水汚濁水路浄化清掃管理組合に浄化水路の除草や清掃に対する活動資金を支援した。	
				22221	エコ活動を行う事業者や市民団体などへの支援を継続します。	エコ活動への関心、参画の拡大に努めるため、現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	玉名地球温暖化対策地域協議会「エコの環たまな」に対し、補助金を交付し、市民・事業者等と地球温暖化防止への啓発活動を推進した。	
				22222	定期的に広報紙などで(エコ活動を行う事業者や市民団体などの)活動状況を広く周知し、エコ活動への関心、参画の拡大に努めます。	エコ活動への関心、参画の拡大に努めるため、定期的に広報紙等で紹介記事等を掲載する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	玉名市環境基本計画に基づき環境行動指針取り組み状況自己チェックリストについてホームページ等で周知し市民のエコ活動に関心を持ってもらうように努めた。	
	省エネルギーの推進	2	1	23111	公共事業関連での新エネルギー導入は、関係課と連携し、環境に配慮した機材や施工方法を用いるよう意識啓発に努めます。	新エネルギーやCO2排出量削減を目的とした機器について情報の提供を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	新エネルギーやCO2排出量削減を目的とした機器(太陽光発電)について情報の提供を行った。	
				23121	住宅用の太陽光発電機設置に対する支援を設置世帯数で年間200軒前後の純増を目標として引き続き実施します。	太陽光発電システム設置に対し、年間約200件の補助を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年度における補助金交付については、76件の申請に対し7,214,000円の交付を行い、クリーンエネルギーの利用促進と地球環境保全意識の高揚を図った。	
	4	上水道・下水道の整備促進	1	1	24111	上水道事業は、年次整備計画に基づき未普及地域の解消、老朽化した施設や配水管の更新を計画的に推進します。	上水道事業は、未普及地域の整備及び老朽化した施設、配水管等の更新を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	未普及地域の整備及び老朽化した配水管等の更新は予算内での執行を行っている。老朽化した施設の更新については、H29年度に主要施設の耐震診断調査を行い、その結果を踏まえ更新計画を策定する予定である。
					24112	上水道事業は、運転管理や維持管理体制の効率化を目指す。	上水道事業は、運転管理や維持管理体制の効率化を目指すため、運転管理を平成23年度より複数年契約、維持管理は単年度契約で実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	運転管理の契約は2期目(H26~28)が完了し、H29年度より3期目(H29~33)、維持管理は単年度契約で実施している。
					24121	配水池やポンプ室などの基幹構造物や管路の耐震補強や更新を進めます。	新設及び更新工事の管路は、耐震管を採用している。また老朽化した施設もあり、基幹構造物の耐震補強計画は未策定であるため、早い段階で計画し財政面も考慮しながら事業を実施していく。	4. 進行中(前半)	状況の説明	新設及び更新工事の管路は、耐震管を採用している。また老朽化した施設は、H29年度に主要施設の耐震診断を行い、それ以外は今後調査する予定である。
					24122	災害時の応急給水拠点を整備するための拠点設置計画などの策定に努めます。	災害時の対応は、「玉名地域防災計画」に基づき実施するため、『拠点設置計画』は策定しない。	7. 計画中止	計画中止の理由	災害時の対応は、「玉名地域防災計画」に基づき実施するため、『拠点設置計画』は策定しない。
					24131	簡易水道事業は、配水管の更新時期も迎えているため、統合計画に基づき施設や配水管の更新を推進します。	簡易水道等施設整備費(生活基盤近代化事業 補助率1/3)により計画期間中(平成23~平成27年度)、天水東地区の老朽化した施設及び配水管の更新を実施する。	1. 達成(完了)	状況の説明	簡易水道事業は、H27年度をもって事業完了しており、H28年度に上水道事業へ統合した。
			2	1	24211	公共下水道事業は、今後も更に計画区域内の認可拡張を実施し、早期完了を目指す。	公共下水道事業は、平成28年度の処理区域内人口33,400人を目標とし、今後も全体計画区域内の認可を拡張し、未整備地区の早期完了を目指す。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年度は認可区域の拡張を行い、既認可区域の整備を行った。今後も全体計画区域内の認可を拡張し、未整備地区の早期完了を目指す。
24212					公共下水道事業は、要望の高い未整備地区の新規着手に努めます。	公共下水道全体計画区域外の未整備地区については、平成25年度に玉名市生活排水処理施設整備構想の見直しを行い、個人設置型浄化槽による整備手法に決定したため、公共下水道事業では整備を行わない。	7. 計画中止	計画中止の理由	公共下水道全体計画区域外の未整備地区については、平成25年度に玉名市生活排水処理施設整備構想の見直しを行い、個人設置型浄化槽による整備手法に決定したため、公共下水道事業では整備を行わない。	
24221					玉名市浄化センターの機械や電気設備の改築を進めることにより施設の長寿命化を図ります。	玉名市浄化センターの長寿命化として、機械、電気設備の更新を図る。平成25から平成29を予定。	3. 進行中(後半)	状況の説明	長寿命化計画に基づき計画的に改築更新を行っている。劣化が激しいものについては適宜計画の変更をしながら進めている。計画年度を32年度まで延長。	
24222					玉名市浄化センターの経営においては補助制度を活用し建設投資や維持管理の一層の効率化に努めます。	玉名市浄化センターの長寿命化は、補助制度を最大限活用し、該当しない設備は単独による修繕を行う。また、維持管理の効率化にも努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	長寿命化計画に基づき計画的に改築更新を行っている。計画年度を32年度まで延長。	
24231					菊池川左岸(豊水、伊倉、八嘉の一部)の下水道は、地域の意見などを踏まえ整備手法など検討を引き続き実施します。	菊池川左岸(豊水、伊倉、八嘉の一部)は、玉名市生活排水処理施設整備構想に基づき、地域の意見などを踏まえ整備手法などを検討する。	1. 達成(完了)	状況の説明	菊池川左岸(豊水、伊倉、八嘉の一部)については、地域の実情に基づき、平成25年度に玉名市生活排水処理施設整備構想の見直しを行い、個人設置型浄化槽による整備手法に決定した。	
4	1	1	24241	新幹線新玉名駅周辺の汚水整備計画は、今後の開発状況に添った適正な下水道事業を引き続き推進します。	新幹線新玉名駅周辺の汚水整備計画は、今後の開発状況に添った適正な下水道事業を推進するため、認可取得を目指す。	5. 着手	状況の説明	平成28年度は新玉名駅周辺の具体的な開発計画がないため、現時点で進捗はない。今後も開発状況に添った適正な下水道事業を推進していきます。		
			24251	立願寺の雨水対策は、今後の整備手法について、慎重に検証し対応します。	立願寺の雨水対策は、市計画道路の完成とともに雨水幹線が整備され、紫根木川の改修も同時期に実施されたことで、浸水区域内の排水機能が大幅に改善がみられるため、状況を確認しながら今後の整備手法を検討します。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成19年度に雨水幹線が整備完了し、浸水区域内の排水機能が大幅に、現在のところ大きな被害は発生していないため、整備手法について今後も慎重に検証し対応する。		
			24261	浄化槽の設置者に対しての設置費補助金の交付や、市町村設置型の整備について、今後も積極的に推進するための啓発活動に努めます。	住宅に個人設置型浄化槽を設置する場合に人槽に応じて補助金を交付する。特にみ取りや単独処理浄化槽を利用している家庭に合併浄化槽への転換を促す。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成28年度は個人設置型浄化槽については83基、市町村設置型浄化槽は6基設置した。今後も引き続き浄化槽整備事業に取り組んでいく。		

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)					
基本目標(事)	主要施策(節)	施策区分(細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由		
							項目	内容	
5 安心安全なまちづくり	1 防災体制の強化	1 防災体制の強化	24262	「水のきれいな都 玉名」の実現を目指します。(※浄化槽の設置以外施策によるもの)	公共下水道、農業集落排水、浄化槽の各事業を用いて汚水処理の整備を進め、住環境の改善および公共用水域の保全に努め、「水のきれいな都 玉名」の実現を目指す。	4. 進行中(前半)	状況の説明	公共下水道、農業集落排水、市町村設置型浄化槽の各事業実施地区は、今後整備を進め、住環境の改善および公共用水域の保全に努め、「水のきれいな都 玉名」の実現を目指す。	
			24271	横島地区の農業集落排水事業は、今後は、経年劣化による機能低下が懸念される汚水処理場などの改修計画を立てて機能の強化を実施します。	横島地区処理場の機能強化及び各住宅に設置してある真空弁システムの更新を行う。	1. 達成(完了)	状況の説明	横島地区については事業終了。引き続き総合的な改修を進めるため新たに横島町地区を採択し残る処理場、真空弁システムの更新を行う。	
			24281	天水地区の汚水処理対策は、今後、地区住民が求める下水道施設による汚水処理を含め、最も適切な汚水処理の整備手法の検討を図り、その実現に努めます。	天水地区(農業集落排水処理区域以外)は、玉名市生活排水処理施設整備構想に基づき、地域の意見を踏まえ整備手法などを検討する。	1. 達成(完了)	状況の説明	天水地区(農業集落排水処理区域以外)については、地域の意見などを踏まえ見直しを行った結果、今後市町村設置型浄化槽による整備を推進する。	
			25111	災害時における連絡体制や役割分担などについて、防災関係機関、民間事業者と事前に調整を実施するなど、一層の連携・協力体制の充実を図ります。	災害時における救援物資の提供と応急対策活動等の協定調整を実施するなど、一層の連携・協力体制の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	企業等との災害協定を平成28年度には3社と締結した。今後も、救援物資等の提供と応急活動を踏まえ、災害協定の実施を図る。	
			25121	危機管理意識の啓発は、市、防災関係機関、自主防災組織などとの連携を強化し、市民の防災意識の高揚を図ります。	地域住民一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守る」という連帯意識の下に、組織的な防災活動を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	自主防災組織の強化及び推進を図り、防災活動を行う。	
			25131	常備消防については、災害態様の複雑多様化に対応するため、救助に関する教育訓練体制の充実や救助業務実施体制の充実・強化を促進していきます。	地域住民が安心して暮らせるように、住民の生命、身体、財産を火災等から保護し、その被害を軽減を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	有明広域行政事務組合に消防費を負担し、常備消防の充実・強化の促進を図っている。	
			25132	非常備消防は、団員確保と体制強化を図るため組織再編を検討するとともに、活動に必要な資機材、装備、施設などを充実し、消防団活動の充実を図ります。	消防団員確保と体制強化を図るため組織再編を検討する。	1. 達成(完了)	状況の説明	支援団員制度を導入することで消防団の体制強化を図った。	
			25141	平時からの防災意識の高揚を図ります。	市民の防災意識の高揚を図るため、防災講演会や研修会等を開催し、防災啓発を継続して実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	地域防災組織の強化及び研修等を実施し、市民の防災意識の向上を図った。	
			25142	防災訓練などに市民が参加しやすい工夫を凝らし、地域の防災力の一層の向上を図ります。	市民、関係機関、玉名市が一体となって実践的な防災訓練を実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成28年度については、災害対策本部の訓練を行った。	
			25143	自主防災組織については、更なる組織率の向上に努めています。	地域の防災力強化のため、さらに自主防災組織の結成促進・活動力向上に取り組む。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年度に新たに組織された地域が1地域あり、今後も自主防災組織の取り組みについて、周知を図ってまいります。	
		25151	自然災害、危険物災害などの発生に備えた防災行政無線は、各支所の機器が異なるため、その統合・デジタル化を図ります。	将来、玉名、岱明、横島、天水の4つの親局を1つに統合し、アナログから完全デジタル化を図る。	5. 着手	状況の説明	平成28年度 実施設計完了 平成29年度 プロポーザルにて業者選定 平成29、30、31年度 本体工事		
		2 治水の強化	1 治水の強化	25211	水害の多発地帯では河川の改修を推進します。	水害の多発地帯では、災害復旧工事等により河川の改修を推進する。	8. 評価不能	評価不能の理由	河川改修の推進にあたっては、国、県や市のそれぞれの管理区域があるため、一概に評価することが困難であるため。
				25221	県管理区間の境川については、境川改修事業促進期成会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化します。	県管理区間の境川は、境川改修事業促進期成会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	国道208号の新境川橋工事に伴う市道付替えが行われた。今後も境川改修事業促進期成会を通じて早期の整備促進を図っている。
				25222	境川については、市管理区間も下流とのバランスを考慮しながら計画的な整備を推進します。	市管理区間の境川は、下流域とのバランスを考慮しながら計画的な整備を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	境川下流の県管理区間の河川整備の進捗をみながら事業をおこなう。
				25231	唐人川、尾田川については、唐人川・尾田川改修及び流域整備事業促進期成会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化します。	唐人川、尾田川は、唐人川・尾田川改修及び流域整備事業促進期成会の活動を通して、河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	尾田川の一部区間において農道橋の下部工に着手された。今後も県に対し唐人川・尾田川改修流域整備事業促進期成会を通じて早期の整備促進を図っている。
		3 交通安全対策の強化	1 交通安全対策の強化	25311	交通安全対策は、主要道路や通学路の歩道整備を引き続き推進します。	交通安全対策としての主要道路や通学路の歩道整備は、適宜、部分的な改良等を実施する。	8. 評価不能	評価不能の理由	交通安全対策として市道にある通学路の歩道整備は、適宜部分的な改良を行っているが、国道や県道の歩道整備もあるため一概に評価することが困難である。
				25321	「高齢者の交通安全の確保」「自転車の安全利用の推進」「シートベルトの全席着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底」「飲酒運転の根絶」に重点をおいた交通安全意識の啓発や交通安全教室を実施します。	第10次玉名市交通安全計画(平成28年度～32年度)において設定している目標に達し、24時間交通事故死者数を2人以下、年間の交通事故負傷者数を250人以下とする。	5. 着手	状況の説明	年間の交通事故負傷者数及び発生件数は減少傾向にあるが、平成28年において死亡事故件数が3件で負傷者数については298件であった。
		4 防犯対策の強化	1 防犯対策の強化	25411	行政区、学校、家庭、職場への広報活動を充実させ、地域防犯組織の育成を図ります。	警察をはじめとする関係機関からの情報を防犯活動に取り組みボランティア団体等に随時提供する。また、広報紙に掲載し市民の防犯意識の高揚を図り、防犯組織の育成に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	各関係機関と連携を図りながら、防犯組織の育成に努めた。
				25412	防犯対策の強化に努めます。(※地域防犯組織の育成を除く。)	青パト巡回未実施のPTAや補導員等の防犯協力団体に青色パトの活用を働きかけ、年間を通じた青パトによる巡回強化を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	定期的な青パトによる巡回を行い、防犯活動に努めた。
				25421	学校周辺をはじめとする危険箇所の把握を関係団体と連携し実施します。	玉名警察署、学校、関係課と通学路等の安全点検を今後も実施し、これらの関係機関と連携を取りながら危険箇所の解消に努める。	2. 概ね達成	状況の説明	通学路等における交通危険箇所については、関係部署関係課と現地立会いにより、対応を図った。
25422	(防犯施設整備)対策が必要な場所には、行政区などの管理団体に防犯灯を設置するための補助制度の活用を働きかけるなどして、防犯施設の整備を図ります。			管理団体の負担により設置するため目標設定は困難であるが、寿命が長く、電気料金が安価なLED照明の特性について情報提供に努め、球交換の労力軽減も図れることからLED照明防犯灯の普及を促進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	防犯灯のLED化推進を行い、LED化も徐々に進んでいる。		

五名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)									
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)						
							項目	内容					
6	ごみ・し尿処理と再資源化の推進	1	1	26111	ごみ排出量の減少に資するため、更なるごみ分別の徹底を図ります。	ごみの分別は、現在違反ごみも減少してきている。しかしながら、焼却場、最終処分場の延命化等も含め市民への更なる啓発を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	市民のごみ分別意識も向上しており、違反ごみも減少しつつあるが、引き続きごみの減量化の普及啓発を行った。また、東部環境センターの焼却設備の補修工事を完了した。				
				26112	資源ごみの回収に特に有効なコンテナ方式は、モデル地区の拡大に努めます。	資源ごみの回収には、コンテナ回収が有効であるためモデル地区の更なる拡大に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	市内3団体により28地区でコンテナ回収が実施された。				
		2	1	26211	更なる3R(ごみの抑制・Reduce、再利用・Reuse、再資源化・Recycle)の取組を推進します。	更なる3Rの推進に努める。また、「使用済小型電子機器の再資源化の促進に関する法律」が施行されたことによる回収方法等の検討を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	「使用済小型電子機器の再資源化の促進に関する法律」が施行されたことにより、市役所に回収ボックスを設置し、ごみの更なる3Rの推進に努めた。				
				26212	(循環型社会システムの構築を図るため)広報紙や市のホームページなどで啓発を実施します。	ごみの分別や循環型社会システムの構築を図るため、広報誌や市の平成P、啓発チラシ等により啓発を続ける。	3. 進行中(後半)	状況の説明	ごみの分別方法などを市の広報紙やホームページ、ごみカレンダーなどに掲載し、ごみの減量化を図るための啓発を行った。				
		3	1	1	26211	家庭ごみをはじめ産業廃棄物などの不法投棄は、関係機関との連携/パトロールの強化などを図りその撲滅に努めます。	一般廃棄物、産業廃棄物などの不法投棄に対して、県、委託業者等と連携しパトロール強化及び排出者への指導の強化に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	不法投棄に対しては、市と委託業者と不法投棄監視、回収及び運搬業務委託を締結し、定期的なパトロール及び不法投棄物の回収を行った。また、県と連携し、排出者への指導を行った。			
					3	1	31111	一人ひとりの子どもの発達段階に応じた適切な教育を行います。	一人ひとりの子どもの実態を確実に把握したうえで、個に応じた適切な教育を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	各小中学校とも学校総体で取り組んでおり、小学校と中学校の情報の共有化を図り、児童生徒理解が進み、個に応じた指導が推進できている。更に就学前教育との連携を強化している。	
		3	人をはぐくむまちづくり	1	1	1	31112	中学校区における幼・保・小・中の連携と交流を更に深めます。	中学校区単位で小中一貫の視点に立った教育活動(小中一貫教育)を展開し、小・中の連携をさらに深め、同時に幼・保との連携、交流も推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	小中一貫教育推進計画に基づき、各中学校区で「目指す子ども像」を定め、「知・徳・体」それぞれに共通実践事項を決めて取り組んでいる。小中一貫教育コーディネーターの研修を年3回実施し、推進リーダーの育成にも努めている。	
							31121	読書の重要性を再認識し、想像力を豊かにし、表現力を高めるなど効果的な読書活動を推進します。	全小中学校の学校図書館図書標準達成率75%以上を目指す。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成29年度調査(平成28年度末実績)によると学校図書館図書標準達成率は五名市全小中学校で80%以上となっている。ポランティアによる絵本の読み聞かせ、童話発表会の実施の実施。	
						2	1	31122	就学前から家庭や地域との連携のもと、読み聞かせなど読書に親しむ場を工夫します。	図書室補助員をすべての小中学校に配置し、児童生徒の読書活動を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	図書室補助員は全小中学校に配置しているが、18名中9名は2校兼任である。小学校配置:16,281,104円 中学校配置:8,074,686円
								31211	学校は、人間形成の基礎づくりの場であることから、「みんなで助け合い、楽しく基礎・基本を学ぶ」ことを前提とし、さらに、個性を伸ばし、生きる力をはぐくむことを目指します。	いじめや不登校、並びに体罰等の発生防止に努め、教師一人一人の授業力アップと児童生徒の学習意欲を高め、基礎基本の定着及び社会性の向上に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	義務教育9年間を見通して中学校区ごとに策定された共通実践事項を毎年見直し、小中の連携を推進している。教育活動に保護者や地域の人材を活用することで、様々な価値観に出会わせ、自ら考える力を高めている。
2	1					31212	社会教育と連携し「地域の子どもは地域で育てる」という考え方にに基づき、農業体験や職場体験、企業訪問、環境学習、ボランティア活動などを積極的に学習活動に取り入れれます。	学校社協の考え方をともに、学校と地域がそれぞれの力を出し合い、将来を担う有為な児童生徒の教育活動を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	すべての学校で学校応援団の協力を得て、校外での体験学習等を実施している。働く人々の苦労や願いを知り、体験することで自己を見つめ、さらに自己の将来につながるキャリア教育の充実を図っている。		
						31221	情報教育、環境教育、国際理解教育など、体験学習や実践を取り入れながら積極的に実施します。	すべての小中学校において、情報教育、環境教育、国際理解教育の全体計画及び年間指導計画をそれぞれ作成し、体験学習や実践を取り入れながら、計画的・系統的な教育活動を展開する。	2. 概ね達成	状況の説明	すべての小中学校において、情報教育、環境教育、国際理解教育の全体計画及び年間指導計画の作成がなされ、計画に基づいて計画的・系統的な教育活動を展開している。特に、情報教育においては、情報モラル、情報安全教育を計画的に実施し、自己教育力を育成する必要がある。		
3	1					1	31222	学校ホームページを通して、学校の教育活動の様子などを保護者や地域住民に伝え、地域に開かれた信頼される学校づくりに努めます。	学校ホームページを定期的に更新し、学校の情報(教育活動の様子など)を常に発信し続ける。	4. 進行中(前半)	状況の説明	ホームページは、すべての学校で開設されているが、定期的な更新ができていない学校が依然見られる。ホームページ作成の実践的な研修を実施し、取組を促す必要がある。学校だよりは、校長を中心定期的に発行している。	
							31231	指導主事派遣事業、学校訪問事業を充実させます。	一人一人の教師の授業力・生徒指導力を高め、組織としての学校力を高めるために、全ての学校への訪問を実施し、さらに要請に基づき必要に応じて指導主事を学校に派遣する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	全27校に対し、教育事務所訪問を含め、市教委による学校訪問を実施し、授業参観等を通して、指導・助言を行うとともに管理職と課題を共有し、適切な支援を行っている。	
4	1					1	31232	多様な指導形態と評価方法の工夫改善や言語活動の充実を図ります。	各学校が児童生徒の実態を把握し、校内研修等において課題を共有し、共通実践に取り組む。	3. 進行中(後半)	状況の説明	身につけさせたい力を明確にした上で、指導事項と結び付け、単元を貫いた言語活動を設定し、児童生徒が自ら考え、判断し、それを表現する主体的、対話的深い学びを実現する授業の展開を工夫している。	
							31241	心身の健康や自然の恩恵、勤労などへの感謝、食文化などについて、教科と学校給食や体験活動を関連させた系統的な指導の充実を図ります。	すべての小中学校において食育全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的・系統的な教育を実践する。	1. 達成(完了)	状況の説明	すべての小中学校において、心身の健康や自然の恩恵、勤労などへの感謝、食文化などについて、教科と学校給食や体験活動を関連させた食育全体計画及び年間指導計画を作成し、それに基づいた計画的・系統的な指導の充実が図られている。	
5	1	1	31242	食に関する知識や実践的な態度を身につけさせ、望ましい食習慣の形成に努めます。	すべての小中学校において食育全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的・系統的な教育を実践する。	1. 達成(完了)	状況の説明	本市栄養教諭及び栄養職員による食育指導を全ての小中学校で行い、望ましい食習慣の形成を図っている。また、学校単位で食育に関する指導を行っている。					
			31251	子どもの体力低下を防止し、子どもの基礎的な体力を身につけるため、体力・運動能力テストを実施します。	体力・運動能力テストを実施し、成果と課題を明確にして学校体育の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	全ての学校で、体力・運動能力テストを実施することができた。学校経営案には、リーダーチャートを活用し、成果と課題を明確化し、対策を明記している。					

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)				
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
							項目	内容
3	学校・家庭・地域の連携		31252	子どもの体力低下を防止し、子どもの基礎的な体力を身につけるため、学校体育の充実を図ります。(※体力・運動能力テストを実施を除く。)	すべての学校において学校体育指導全体計画及び年間指導計画を作成し、学校体育の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	すべての学校において、本年度の学校体育指導全体計画及び年間指導計画を作成した。それに基づき学校体育の充実を図っている。
			31261	玉名市教育委員会指定研究推進校補助事業を引き続き推進します。	毎年新規に2校の推進校を指定し、全校一体となって学力向上等に取り組み、2年目に成果の検証のための発表会を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	特色ある学校づくり研究指定校4校
			31262	全国学力・学習状況調査を市立全小・中学校で今後も実施し授業改善に取り組むことにより、児童や生徒の学力向上に努めます。	教育活動の成果検証のための指標とし、問題内容や問い方などを授業に活かし、基礎基本を活用する力を高め、結果をもとに課題を洗い出し授業の改善及び学習内容の定着を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	各学校とも、調査実施、結果分析、指導改善等のPDCAサイクルに沿った取組がなされている。各学校の取組が一一人の教職員に浸透していくよう学校化を図る必要がある。
			31271	家庭教育は、玉名市家庭教育憲章の理念に基づき、社会教育と連携を図り意識啓発に努めます。	各学校が、教育活動にかかる情報を保護者や地域に発信し、児童生徒の課題の共有を図り、教育の第一義的責任を有する家庭の意識を高め、協働して健全育成に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	授業参観や懇談会や校外での講演会等への参加は、家庭によって偏りがあり、すべての家庭で課題を共有するまでには至っておらず、達成が難しい状況である。
			31281	不登校の未然防止や解消、いじめや問題行動の早期発見・早期対応に向けて、学校と家庭や関係機関が連携をとり、細心に配慮しながら実施します。	不登校の未然防止や解消、いじめや問題行動の早期発見・早期対応に向け、学校の教育相談活動の機能強化を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	玉名市教育相談員を教育総務課内に1名配置し、適応指導教室指導員を各中学校に1名配置しているが、相談業務が増加しているため学校の要望に十分に応えられていない。 ①細事業名：適応指導教室指導員活用事業 ②H28年度決算：3,853,000円 ①細事業名：教育相談業務 ②H28年度決算：1,152,000円
			31291	一貫性を持たせた体系的な教育方式である小中一貫教育の創設も視野に入れた小・中学校教育のあり方について検討を開始します。	平成25年3月14日に小中一貫教育推進計画を策定し、平成26年4月から市内全小中学校において小中一貫教育をスタートするため、中学校ごとに小中一貫教育に向けての体制づくり着手する。平成28年度末までに、小中一貫教育体制を構築し、エンジョイ・イングリッシュと玉名市を市内全小中学校にて実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	各中学校区において「目指す子ども像」を定め、その具現化のための共通実践事項を「知・徳・体」それぞれに決めて取り組んでいる。達成目標を定め、中学校区単位で方向性を同じくして学習指導や生徒指導を行っている。また、特色ある教育課程「玉名学」「エンジョイ・イングリッシュ」においては、平成28年度から全小中学校で導入し、平成29年度からの完全実施に向けて取組を進めている。
			31311	教職員自身が地域のよさを再発見し、課題解決的な学習を通して教科や道徳、総合的な学習の時間などに生かしているような学習を進めます。	玉名の歴史や産業、礼儀、作法等について学ぶ『玉名学』のテキストを作成し、市内全部の小中学校へ導入していくことで、生まれ育った玉名への誇りをもつ子どもたちを育てる。	3. 進行中(後半)	状況の説明	玉名の歴史や産業、礼儀、作法等について学ぶ『玉名学』のテキスト「礼節」探究「日本語」の完全版を作成し、配布を完了した。また、教職員が「玉名学」の授業実践に生かすことができる指導書も「礼節」探究」を作成、配布し、平成29年度からの完全実施に備えた。
			31321	伝統芸能・文化の継承は、文化振興や社会教育と連携し、教育課程外などの時間を活用し、ふるさとの祭りを地域素材として教材化し、社会科学習などに活用します。	社会科での学習のみならず、『玉名学』においても地域素材をいかした学習を取り入れることで、地域に対する児童生徒の興味・関心を高める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	施策No.31311に同じ
			31331	米作りなどの体験学習や他学級との交流学習、地域の人の交流などを積極的に実施します。	各学校で創意工夫しながら、さまざまな体験活動等を取り入れることで、児童生徒の社会参加や自立を促す。	1. 達成(完了)	状況の説明	各学校が創意工夫しながら、さまざまな体験活動等を実施しており、児童生徒の社会参加や自立を促すことができた。
			31341	学校支援ボランティアの活用や学校評議員、学校運営協議会委員などによる学校関係者評価を進めます。	学校の教育活動に外部の人材を導入したり、学校の自己評価だけでなく外部からの評価を受け、得られた課題を必要に応じて学校経営方針等の改善事項に組み込み、教育活動の充実・向上を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	学校評議員事業小学校19校 学校運営協議会 小学校2校、中学校6校で取り組まれており内外からの評価を取り入れた学校運営を行っている。
			31351	通学路の安全点検や防犯パトロールなど、地域が一体となり交通安全・防犯体制を強化します。	すべての学校で通学路の安全点検を行うとともに、地域ボランティアによる防犯パトロールの組織づくりを推進する。	2. 概ね達成	状況の説明	通学路交通安全プログラムに基づき、すべての学校で通学路の安全点検を行い、通学路交通安全推進会議の中で、国・県・警察等関係機関と合同点検を実施し、可能な施策についての公表を行った。学校と地域連携し防犯体制づくりを行った。(子ども見守り支援事業)
			31352	校内に防犯カメラを設置します。	小学校21校及び中学校6校防犯カメラを設置する。(※中学校は必要に応じる。)	3. 進行中(後半)	状況の説明	小学校21校と玉名中学校、玉陵中学校に設置が完了している。残り4中学校には未設置のため、今後必要に応じて設置を図る。
31361	「あいさつ運動」などによる地域との関わりを通して、心豊かでたくましい子どもたちを育てる学校教育を推進します。	すべての学校において児童会・生徒会を主体としたあいさつ運動を行う。	1. 達成(完了)	状況の説明	本年度も、すべての学校において児童会・生徒会を主体としたあいさつ運動を行っている。			
4	人権教育の充実		31411	一人ひとりがお互いを尊重し、命の大切さを実感できる、「命の教育」を推進します。	すべての小中学校において道徳教育全体計画及び年間指導計画を作成し、豊かな体験活動との関連を図ることでの「命の教育」を推進する。	1. 達成(完了)	状況の説明	すべての小中学校において道徳教育全体計画及び年間指導計画を作成した。それに基づき、豊かな体験活動との関連を図ることで「命の教育」を推進している。
			31421	同和問題を人権問題の中心に据えながら、あらゆる人権問題解決のために、人権教育の一層の推進を図ります。	すべての小中学校において、人権教育の全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的・系統的な教育活動を展開する。	2. 概ね達成	状況の説明	すべての小中学校において、人権教育の全体計画及び年間指導計画の作成がなされ、計画的・系統的な教育活動が展開されている。本年度より新しい形式による全体計画を作成するように新たに指導していく。
5	教育環境の整備		31511	老朽化した校舎などの(学校施設は、)改修や改築について年次計画に基づき整備を図ります。	老朽化した校舎などの学校施設の改修や改築を年次計画に基づき整備する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	建築時期が昭和40年～50年代に集中しており、建築後約40年～50年が経過し、老朽化した校舎が大半を占めている。そのため改築を含めた改修計画が必要で、莫大な予算が必要となっている。学校再編の事業計画及び「玉名市公共施設長期整備計画」を基に、平成32年度までに「学校施設の長寿命化計画」を策定し、整備を図っていく。
			31521	小・中学校の校舎などは耐震診断に基づき計画的に耐震補強工事を実施し、平成25年度までに耐震化を図ります。	すでに着手済み(平成24末の耐震化率は98.9%)平成25年度末完了を計画していたが、玉中武道場が未調査であったため、急速平成24年度に耐震診断を実施、結果耐震補強困難となり、平成25実施設計、平成26改築を行う。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成25年度達成玉中武道場の耐震診断を実施した結果、耐震補強が困難となったことにより、H25年度に解体工事を行い耐震化率は100%となった。H26年度には玉中武道場の改築工事を行った。

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)				
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
							項目	内容
2	社会教育の充実	1	生涯学習の推進	31531	小・中学校の適正な規模や配置の基本的な考え方などについて検討する審議会を設置します。	平成23年度中に6回の玉名市学校規模適正化審議会を開催し、平成23.12.11に玉名市学校規模適正化建議を受け、平成24.3.14に玉名市学校規模・配置適正化基本計画(案)を決定する。望まれる学校規模基準(小学校「2学級～3学級」、中学校「3学級以上」)を決定する。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成24年度達成 H24.6月から玉名市学校規模・配置適正化基本計画説明会や意見交換会、パブリックコメント等を実施し、10月に玉名市学校規模・配置適正化基本計画を策定する。その後、最初に実施する玉陵中学校区の6小学校区にて実施計画説明会を行い、周知を図った。平成27年度は天水中校区でも説明会を行った。
				31532	(小・中学校の適正な規模や配置の基本的な考え方などについて検討する審議会)で検討された建議を受けて、学校規模や学校配置についての基本方針を策定し、その計画を推進します。	全市内6中学校において基本計画(案)説明会を実施し、同時にパブリック・コメントを実施する。天水中校区3小学校区において、基本計画(案)意見交換会を実施し、平成24.10.11に玉名市学校規模・配置適正化基本計画を決定する。最初に取り組む玉陵中学校区において、実施計画説明会を実施し、平成25.2.18に新しい学校づくり委員会(部会)を発足させ、計画を推進している。平成28年度末までは、玉陵中学校区を完了させ、平成27年度からは天水中校区を検討に入り、学校再編を軌道に乗せる。	4. 進行中(前半)	状況の説明 最初に取り組む玉陵中学校区において、「新しい学校づくり委員会」を組織し、学校再編に必要な諸事項を協議・調整し決定して行ながら、6小学校を1小学校にする学校再編を推進し、1学年2～3学級の学校規模基準にする。 平成28年度は新しい学校づくり委員会を3回、各専門部会を合計9回開催し、「標準服等」や「校歌」などを決定した。 天水中校区においては、小学校の保護者向けに1回、未就学児の保護者向けに1回説明会を行った。
				32111	4公民館(玉名市中央・岱明町・横島町・天水町)は、連携を図り、地域の実情に合わせた各種公民館講座事業を拡充します。	市民を対象に生涯を楽しむ、充実させるため地域の実情にあった学習を提供し、生活の質の向上に役立てるとともに地域社会への参加を促進し、連携意識の強化を図る。また、地域のニーズに応じた講座内容により各公民館で継続的に実施する。	1. 達成(完了)	状況の説明 中央公民館21講座、岱明町公民館7講座、横島町公民館7講座、天水町公民館6講座を実施した。
				32112	4公民館(玉名市中央・岱明町・横島町・天水町)は、誰もが参加できる自主活動の支援に努め、生涯学習機会の充実を図ります。	市民の自主的な生涯学習活動の支援や自主団体の育成を図り、自ら実践する心と活動を育む生涯学習を推進する。また、各年齢層・性別に応じた工夫のある内容で講座・研修会などを継続して実施する。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成28年度についても事業を継続し、自主講座の発表の機会や支援を行った。また、親子参加型講座や若い世代向けの講座を実施し、幅広い年齢層の方々が参加できる講座の環境づくりに努めた。
				32121	2 公民館職員の研修体制を強化し、地域に根ざした公民館活動を振興します。	地域住民が相互協力により、文化・スポーツ活動や世代間の交流を図る。また、生涯学習の場として公民館が安心して利用できるよう継続的な振興を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成28年度については、市・県単位での研修に参加し、先進地の活動などについて学ぶ機会を得た。
				32131	3 各支館活動の充実が不可欠であることから、それぞれの支館が個性や独自性を生かした計画づくりを実施します。	地域社会の親睦と融和を図り、相互理解と地域連帯感を高め、コミュニケーションを深めることを最大の目的であり、継続的なサポートする	1. 達成(完了)	状況の説明 平成28年度についても支館委託料を支出し、費用面からの支館活動に対するバックアップを行い、支館長会議・研修の開催を行った。
				32141	4 まちづくり団体も地域の実情に応じた個別的な活動を展開している団体のネットワークづくりを実施します。	地域の実情に応じた個別的な活動を展開しているまちづくり団体と、長期的、継続的にネットワークづくりを進める。	4. 進行中(前半)	状況の説明 市民館支館長研修会において、60分間のまちづくり等に関する講演会の開催、支館活動の事例発表や意見交換を通じ、情報共有をできる機会を設けた。
				32151	5 地域づくりが持続的に発展するため、地域の担い手の育成を積極的に推進します。	地域の担い手の育成を積極的に推進するため、多方面に亘る活動機会、情報収集をもとに、人材確保に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明 公民館講座の講師に地元の人材を採用するとともに、自主グループの活動やメンバー募集中ランを公民館に掲示し、学習活動に参加していただけるように努めた。
				32161	6 本市の図書館と図書室は、相互の情報ネットワーク化により利用者の利便性の確保を図ります。	図書館及び図書室の利便性の確保のため、利用者からの要望によるインターネット予約を平成25年9月より開始する。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成25年度事業完了済み。図書館及び図書室の利便性の確保のため、利用者からの要望によるインターネット予約を平成25年9月より開始した。
				32171	7 図書館の蔵書数の充実を努めます。	蔵書内容の見直しを図り、市民のニーズ、各図書館のニーズにあわせた選書を行う。	2. 概ね達成	状況の説明 リクエストを元に市民のニーズを把握し、選書を行っている。
				32172	8 年齢層に沿った様々なイベントやコンクールなどを地域や学校教育と連携しながら実施し、市民の読書意欲の向上を図ります。	毎年行う読書活動推進行事は年々参加増である。減少した行事は、問題点の抽出を図り検討する。	2. 概ね達成	状況の説明 毎年継続して行っている行事については、利用者にも浸透しており、参加数は安定している。また、新たな行事を設けたことで親子から高齢者まで幅広い年齢層が参加できた。
				32181	9 「家族の「なかよし」」「ともだちの「なかよし」」「学校の「なかよし」」「となり近所の「なかよし」」「地域全体の「なかよし」」を積極的に推進します。	イベントの開催を目的とするのではなく、地道に根気強くなかよしの日事業の普及、啓発を図る。	2. 概ね達成	状況の説明 平成28年度は人権啓発課が主催する男女共同参画フォーラムと合同開催し、2方面からのPRを行ったがアンケート回答者約200名中なかよしの日の認知度は4割程度であった。
32191	9 市民の学習意欲が高い講座や研修会などを積極的に実施します。	趣味的講座だけではなく、教養講座を取り入れるとともに、地域に応じた課題をテーマに開講する。	2. 概ね達成	状況の説明 各種公民館講座については、パソコン講座など趣味と教養を兼ね備えた講座を実施した。				
32192	9 公民館講座や受講した講座の2年間の成果発表の場となる玉名市生涯学習フェスティバルを引き続き開催します。	公民館講座の1年間の集大成として生涯学習フェスティバルを開催し、公民館講座の普及啓発を図る。	2. 概ね達成	状況の説明 H28年度は舞台発表が9団体、展示発表が10団体出場。記念講演も含めると600名ほどの来場があり、成果発表と普及の場として実施した。				
321A1	A 地域の身近な小・中学校、高等学校、九州看護福祉大学との連携を強化し、環境、高齢者、趣味などに関する多様な学習機会を創造します。	指導する方々との異なる世代間の交流を図り、豊かな人間性や社会性を育む。	2. 概ね達成	状況の説明 社会教育委員による交流や研修の場所を提供した。必要に応じて社会教育に対する助言をいただいた。				
32211	1 子どもたちが学校や地域において、ボランティア活動や農業体験など多様な体験活動ができる体制づくりを、学校教育と連携して実施します。	子どもが自ら学び、自ら考え、判断していく「生きる力」をばくくことに努める。	2. 概ね達成	状況の説明 放課後子ども教室において子どもの体験活動を豊富に実施するとともに、学校支援地域本部事業においてもコーディネーターを中心に、学校の支援だけでなく双方の協力を目標として活動している。				
32221	2 地域の高齢者と子ども達の交流を地域と連携して推進します。	子どもたちが、郷土の歴史や文化に対する理解が深まる体制づくりに努める。	2. 概ね達成	状況の説明 子どもと大人(高齢者)が双方向に教え合い、学び合える関係づくりを目標として、放課後子ども教室において交流を行っている。				
32231	3 (社会教育の充実を図るための)人材育成、指導者養成を積極的に実施します。	社会教育の充実を図るため、社会教育団体の活動を通して、人材育成を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明 青少年(小学生、中学生、子ども会ジュニアリーダー)や女性の会等の社会教育団体の活動を支援し、各活動を通して人材の育成を行っている。				

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)							
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	期数	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)			
								項目	内容		
3	社会教育施設の充実	社会教育施設の充実	4	32232	(社会教育の充実を図るための)各種研修を支援します。	社会教育の充実を図るため、研修の開催を支援し、人材育成に努める。	2.概ね達成	状況の説明	親の学び進捗養成講座を開き、地域や団体のリーダー育成を図るとともに、実際に進捗を体験し、所属する団体等での実施を促している。		
				32241	あらゆる分野において、「人々が生存と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」である人権教育を推進します。	様々な人権問題の解決を自らの課題として考えられるような人権教育を行う。	2.概ね達成	状況の説明	人権教育研究会(講演:市民会館、分科会:玉名高校)を開催し、市民に人権教育について学ぶ機会を提供した。また、人権標語やポスターを募集し、家庭で個人の人権問題について考える取組を行った。		
				32251	『玉名市家庭教育憲章』の理念に基づき、市民一人ひとりが家庭や家族、家庭教育の役割を見つめなおすことの重要性について、積極的に意識啓発を実施します。	市民それぞれが、玉名市家庭教育憲章を再度見つめ直し家庭の教育力向上の意識啓発に努める。	8.評価不能	評価不能の理由	計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しいため。		
				32261	(社会教育の推進のため、)PTAや学校、地域、行政が一体となった連絡・調整機能を果たす場の形成を図ります。	社会教育団体等と連携を図り、さまざまな機会を活用しながら地域教育力の向上を図る。	3.進行中(後半)	状況の説明	青少年の主張、家庭教育に関する講演、PTAと行政が教育について話し合う教育懇談会を開催し家庭教育の推進と地域教育力の向上を目指した。		
				32262	家庭における親子のきずなの形成や、基本的な生活習慣の習得など、地域や家庭の教育環境の向上を目指す。	市民それぞれが玉名市家庭教育憲章を再度見つめ直し、家庭の教育力向上を図る。	2.概ね達成	状況の説明	PTA研修や講演会、親の学びプログラムを活用した啓発及び学習の機会をつくり、子育てをする親の学びや交流の場として、市内小中学校27での実施を目標に実施している。		
		32311	玉名市文化センターなどの生涯学習環境の整備を図るため、施設と設備の充実に努めます。	玉名市文化センターは築33年が経過し、施設や備品等の老朽化により、修繕や備品の更新が必要となっている。利用者が安心して利用できる施設とするために劣化状況に応じた補修、修繕等を行い、安全な施設管理に努めていく。	3.進行中(後半)	状況の説明	玉名市文化センターは築35年が経過し、施設や備品等の老朽化により、修繕や備品の更新が必要となっている。利用者が安心して利用できる施設とするために劣化状況に応じた補修、修繕等を行い、安全な施設管理に努めていく。				
		32312	(玉名市文化センターは、)災害時の対策本部としての役割も担う施設でもあることから建物の耐震診断の実施を検討します。	昭和56年に建設された玉名市文化センターは、現行の耐震基準を満たしていないため、耐震診断を行う。平成26年度に耐震診断を実施し、耐震改修の要否を判断する。	1.達成(完了)	状況の説明	平成25年度事業完了済み。耐震診断を実施し、必要に応じた耐震改修を行った。				
		社会体育の充実	生涯スポーツの推進	1	33111	身近な地域でスポーツに親しむことのできるよう、市民を対象とした総合型地域スポーツクラブの育成を図ります。	地域の実態に応じた総合型地域スポーツクラブの育成及び設立の検討を行う。	3.進行中(後半)	状況の説明	平成30年度の設立に向けて2月回の会議、各種プログラムの開催、イベントの実施を行っている。	
					33121	市民スポーツを通して市民の交流を図り、健康づくり、体力づくりへの意識の向上を図ります。	ビーチボール/バレー大会やゴルフ大会など概ね10大会の市民スポーツ大会を継続して実施する。	8.評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため	
					33122	競技スポーツを通して競技力の向上と底辺拡大を図ります。(※上記の施策No.33121に同じだったので、上記とともに修正しました。)	全国大会出場者等の激励及び競技スポーツ大会への補助により競技力の向上を図る。	8.評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため	
	33131				体力や年齢を問わず、気軽に取り組めるグラウンドゴルフ、ベタンクなどのスポーツを普及します。	生涯スポーツとして誰でも楽しめるスポーツとして普及推進を図る。	8.評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため		
	33141				学校教育や介護予防など組織間の連携強化を図り、子どもの体力づくり、高齢者の健康づくりの推進に努めます。	学校施設を夜間開放し、地域住民のスポーツ環境を提供。また、トレーニング室での各運動教室の充実を図る。	8.評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため		
	33151	「だれでも、いつでも、どこでも気軽に参加できる」生涯スポーツの充実を図るため、各種スポーツ教室を開催し、競技力の向上を図ります。	スポレクフェアやベタンク大会、市民体育祭でのニュースポーツ競技などの推進を図る。	8.評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため					
	社会体育指導者の育成	社会体育指導者の育成	1	33211	各スポーツ団体などに研修会や講習会への参加を積極的に促し、社会体育指導者の育成を図ります。	スポーツ推進委員会を研修会に参加させ生涯スポーツの指導者の育成、また市体育協会へ補助金を交付し競技スポーツの審判、指導者の育成を図る。	8.評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため		
				3	社会体育施設の充実	33311	健康増進や余暇活動としてのスポーツレクリエーションの拠点として、体育施設の体育施設の整備を推進します。	快適なスポーツレクリエーション施設としての機能維持を図り、安心・安全・公平な施設利用や施設整備を行う。	8.評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため
						33321	新たなスポーツ活動、健康づくりの拠点としての施設整備などを検討します。	横島体育館の建替えを行う。	1.達成(完了)	状況の説明	改築前横島体育館解体工事及び建築工事、電気設備工事、機械設備工事、外構工事を行った。構造:鉄骨造平屋建 建築面積:1480.91㎡
	4	文化・芸術の振興	歴史・文化施設の充実	1	34111	博物館は、市民の文化的創造と享受に資するため、企画展などの充実に努めます。	企画展に関連した催物や体験学習を実施する。	1.達成(完了)	状況の説明	平成28年度は、企画展「同田貫とその時代」、「玉名の災害展」外3件の企画展と、企画展関連事業として催物1件、体験学習3件、講演会2件を実施した。	
					34112	(博物館は、)子ども達が郷土の歴史や文化に触れるよりよい機会や体験学習の場となるよう、その活用を積極的に推進します。	体験及び随時受付の体験学習、催物(コンサート等)を年間スケジュールに従って実施する。	1.達成(完了)	状況の説明	平成28年度は、企画展関連事業以外では、催物14件(うちコンサート3件)、体験学習15件を実施し、その他、随時受付の勾玉作り等を行った。	
					34121	(市内に数多く残っている国指定史跡をはじめとする文化財の)保存整備活用計画を作成します。	計画期間中(平成25～平成26年度)において、文化振興基本計画の中に文化財の保存整備及び活用における計画を策定する。	1.達成(完了)	状況の説明	平成26年度に策定した玉名市文化振興基本計画により、今後の文化財保存整備及び活用に関する指針を示した。その指針に基づき、市指定史跡高瀬官軍基地の発掘調査及び市指定史跡高瀬船着場跡の追加指定を行った。	
					34122	観光振興のための(貴重な文化財の)有効活用を目指す。	国・県指定をはじめ、貴重な文化財の保存と活用のための整備を進めるとともに、大坊古墳、永安寺東・西古墳等については一般公開を行うなど活用を図る。	1.達成(完了)	状況の説明	熊本県築前古墳一斉公開(10月・3月)に併せて、大坊古墳、石貫ナギノ横穴群、石貫穴観音横穴の一般公開を行い、延べ752名の見学があった。述べ人数の減少理由としては、平成28年熊本地震の影響と考えられる。	

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)					
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)		
							項目	内容	
文化・芸術の振興	文化交流活動の推進	1	34131	市民会館(ホール)は、市民の集いなどや芸術文化活動の拠点施設としてふさわしいホールを整備します。するとともに、市内の文化活動の活性化に努めます。	今後、平成26年度中に建設位置をあらためて決定するとともに、スケジュールを再構築し、遅くとも合併特例債の適用期限である平成32年度までの整備を目指す。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年度に実施設計が済み、平成30年度までの完成を目指す。	
			34132	市内の文化活動の活性化に努めます。	文化協会との共済による市民文化祭を市民会館で実施することにより、文化活動の活性化を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	10月から12月にかけて市民文化祭を開催。文芸、美術、園芸、伝統文化、舞台部門、作品展示部門等の発表、展示を行った。また、3月に、春の文化祭を開催し、異種文化団体の共同による発表等も行った。	
			34141	文化協会や各種団体の育成強化に努めます。	文化協会が実施する事業を自立的に実施できるよう事業費補助や人的支援を継続的に実施する。	2. 概ね達成	状況の説明	玉名市文化協会及び信明太鼓振興会へ補助金を交付し適宜、運営面で支援した。	
			34211	市民一人ひとりの自主性と創造性を尊重し、市民の文化意識の向上を図ります。	市民文化祭を実施し、広く市民に参加を促すことにより市民の自主的かつ創造的な活動を支援することにより文化活動の向上を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	市民文化祭の展示部門を勤労者体育センターで開催した。一般公募を行い協会員以外の市民の作品を展示した。また、園芸関係は市民会館事務所棟、市民広場で菊花展を開催した。	
			34212	地域の身近な文化に接する機会を提供します。	伝統文化こども教室の開催を支援することにより、機会を提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	和装礼法、華道の2教室が補助事業として採択され、市内小・中学生を対象に開催し、習得された技術の展示や発表会等を開催した。	
			34213	郷土の歴史や文化、芸能、芸術に対する理解と愛着心を育成します。	地域の文化の向上及び発展のため、補助金・激励金の交付を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	全国大会出場激励金(第31回国民文化祭・あいち2016 大正等の祭典)、玉名市文化協会、信明太鼓振興会へ補助金を交付し、適宜運営に必要な助言をした。	
			34221	地域文化の振興を図ります。	市民文化祭等で次世代を担う子供達に地域文化の継承を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	市民文化祭の舞台発表において、子どもたちの発表の場として子ども芸術祭を開催し、地域文化の継承に取り組んだ。	
		34222	芸術文化団体や市民とともに協働して市民文化祭の充実に努めます。	市民文化祭の開催により芸術文化団体の後継者育成を充実させる。	2. 概ね達成	状況の説明	文化協会が主催となり市民文化祭として加盟団体が一体となることで、後継者育成につなげている。また、広報等で毎月、文化協会加盟団体の紹介を行って、広く市民に周知し参加の機会を増やし興味をもってもらうことで、後継者確保に繋げている。		
		2	34311	郷土の歴史や文化について幅広い見識を持ち、文化財の保護と活用の核となる人材を育成します。	地域において活動する歴史、文化活動グループ等と連携しその人材育成に努める。	2. 概ね達成	状況の説明	玉名市文化協会、博物館友の会等の活動への出講を通じて、人材育成に努めた。	
			34321	伝統芸能は、保存団体とともに積極的な後継者育成を図ります。	次世代を担う子どもたちへの啓発事業に対して、玉名市神楽連絡協議会等と連携を図りながら積極的に支援する。	1. 達成(完了)	状況の説明	玉名市神楽連絡協議会、横島海節保存会などの団体に補助金交付などを通じて支援を行った。	
			34331	感性を豊かにする知的で創造的な地域の芸術文化活動は、その発掘を推進します。	玉名市アーティストバンクを実施する。(音楽家、作家、画家等の芸術活動を行う人材を募集し登録する)また、芸術体験の機会を提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	玉名市のホームページ等に掲載。現在の登録者数は、音楽家12組である。登録者の情報を掲載し活用することで音楽の都 玉名づくりの推進を図る。	
		3	歴史・文化を活かした地域づくりの推進	34332	(地域の芸術文化活動は、)新たな担い手の育成に努め、補助制度などを活用した支援を実施します。	市独自の制度を活用し、芸術体験の機会を提供することにより地域の次の担い手に繋いでいく。	2. 概ね達成	状況の説明	玉名市アーティストバンクの登録者・団体を地域の担い手に体験の機会となるよう、市のホームページなどで公開しその活用を図っている。
				35111	玉名国際交流協会をはじめとする民間国際交流団体と協働での活動を実施します。	友好・姉妹都市からの訪問団の受入れの際に玉名国際交流協会とタイアップして歓迎会等を開催する。また、友好・姉妹都市への公式訪問の際には、協会より1名以上の参加を依頼する。	2. 概ね達成	状況の説明	平成28年度は友好・姉妹都市からの訪問団の受入れがなかったため玉名国際交流協会とタイアップして歓迎会等を開催する案件はなかった。
				35112	市内在住外国人の生活支援のあり方について検討します。	玉名市在住及び転入された外国人の方々向けに英語標記の生活マニュアルブック(仮称)の作成を検討する。	6. 未着手	未着手の理由	近年、ITの急速な発展やグローバル化により、情報入手が容易となっている。そのため、本市独自の生活マニュアルブック(仮称)の作成は費用対効果が低いと考え。代替として、(財)自治体国際化協会が作成した「多言語生活情報」の活用を進める。
		5	国際交流の推進	1	35121	米国クラリダ市と中国瓦房店市との姉妹・友好都市交流は、引き続き定期的な相互訪問を実施します。	姉妹・友好都市と引き続き定期的に相互訪問を実施する。具体的には、平成24年度に瓦房店市に公式訪問、平成28年度にクラリダ市に公式訪問、平成27年度に瓦房店市、クラリダ市から公式来訪を予定。	3. 進行中(後半)	状況の説明
35122	(米国クラリダ市と中国瓦房店市との姉妹・友好都市交流は、)教育、産業、文化、医療などの分野においての地域資源を生かした交流を推進します。				クラリダ市への公式訪問時には教育交流の一環として市内の中学生を公費により同行させ、若年者の国際感覚と国際的視野の醸成を図る。また、本市の地域資源を生かした姉妹・友好都市との交流は、国際交流奨励補助金を支給し推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年度は姉妹・友好都市との交流における国際交流奨励補助金を支給する案件はなかった。また、市内の中学生を同行させるクラリダ市への公式訪問の案件もなかった。	
2	35211			外国語指導助手(ALT)を配置するための外国青年招致事業などを積極的に展開します。	JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)によりALT(外国語指導助手)を招致し、小・中学生の語学力とコミュニケーション能力の向上を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	JETプログラムによりALTを中学校単位で6名配置している。全小中学校の英語授業にも参加しイティブスピーカーとしての役割も担っている。外国語指導事業(H28決算)：31,864,090円	
	35212			国際理解を深めることを手助けするボランティアの活用と育成に努めます。	国際理解を深めることを手助けするボランティアを募り、人材バンクという形で登録をし、学校教育の諸活動の中で活用する。	7. 計画中止	計画中止の理由	学校教育の中で人材バンクやボランティア活動について募るなどの作業は困難であるため	

五名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)					
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)		
							項目	内容	
4 活力とにぎわいのある産業のまらづくり	1 農林業の振興	3 「音楽の都 玉名」づくりの推進	2	35221	海外での国際交流や外国人のホームステイを受け入れる市民に対し、活動経費の一部を国際交流奨励費補助により支援します。	市民が外国人のホームステイを受け入れる際や、海外へ国際交流を目的として訪問する際は、その活動経費の一部を国際交流奨励費補助により支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	中学生の韓国交流:13名 高校生のオーストラリア研修:4名 中学生のサマースクールイギリス研修:5名 韓国ホームステイの受け入れ:12名 平成28年度は計34名に国際奨励費補助金を支給した。平成24年度から平成28年度の支援実績は渡航:延べ157件、ホームステイの受け入れ:延べ66件である。
			1	36311	「音楽の都 玉名」にふさわしいイベントを積極的に支援します。	「音楽の都玉名」づくりプロジェクトチームで政策推進ビジョンを作成する。	6. 未着手	未着手の理由	新たな方向性の検討を行ったが、これまでの政策推進ビジョンにかわる新たな計画の策定にまで至らなかった。
			1	36312	音楽とおして、感性豊かな人間形成とまちづくり、芸術文化レベルの向上を目指します。	将来の担い手である、小中学生等にアウトリーチ事業を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	市内小学校や保育所等32か所において、音楽家を招へし音楽にふれる事業を実施。この事業を通して、感性豊かな心を育ててもらったとともに、「音楽の都 玉名」の推進を図った。
			2	36321	「グレン・ミラー音楽祭in玉名」を実施する団体の活動を引き続き支援します。	「グレン・ミラー音楽祭」を実施する団体への補助を今後も継続する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成28年度から「グレン・ミラー音楽祭」の開催は実現できていない。 引き続き、「グレン・ミラー音楽祭」を実施する団体への補助を実施していくが、まずは、実行委員会等の組織づくりに向けて、関係団体との協議や協力体制の強化に努める必要がある。
			1	41111	本市で生産する農林水産物を活かして生産から加工、販売までを実施する事業者を支援します。	平成28年度までに、本市の農林水産物を活用し、6次産業推奨品を20品目にするを目標とする。 ※6次産業推進事業補助金(平成23~平成28)	2. 概ね達成	状況の説明	これまで推奨品に認定された商品はのべ20商品あるが、うち2商品は現在製造中止しているため現在ある商品は18商品である。
			1	41112	6次産業推進交流会を開催するなどして6次産業への参入のための環境整備を図ります。	玉名市内における1次産品を活用し、新たな地域産業を育成するため、各分野の交流及び情報交換などを目的に年4回開催する。	2. 概ね達成	状況の説明	参加者より、開催内容のマンネリ化が指摘されていたため、H27年度より内容を変更し、販売を通じた市民との交流という意味合いで、玉名市役所ロビーでの販売会を交流会に代える形で実施した。市民や市職員への認知度向上につながっている。
			1	41211	JAや生産者代表などの関係者、ブランド関係部署などと連携・協力し、更なる「玉名ブランド」の確立に向けて、消費者ニーズに対応した品種選定や高品質化技術の普及による生産を推進します。	玉名市の認知度を向上する目的で開催されている「玉名市認知度向上キャンペーン」に、6次産業者が自ら参加(出展)し、販売会(市場調査:テストマーケティング)の場を提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	6次産業者に対して、適宜催しイベントや商談会の情報を提供し、販路開拓の促進に務めた。 事業者によって目指す方向性がそれぞれであり、イベントによって参加できる事業者・できない事業者がでてきた。
			1	41212	大消費地などでのトップセールスや玉名フェアなどを開催して、農産物の消費拡大や知名度向上、「玉名ブランド」化に努めます。	6次産業推進の成果発表の場として、「6次産品フェア」を開催し、本市の6次産業者及び6次産品の周知PRを目的に開催する。	1. 達成(完了)	状況の説明	毎年8月に、熊本県のアンテナショップである銀座熊本館において、推奨品事業者とともに「玉名市6次産品フェア」を開催している。
			2	41221	県が進めている「くまもとグリーン農業」へこれまで以上に農家や団体などの参加を促し、化学肥料や農薬の低減と堆肥などの有機質の活用による環境にやさしい農業を推進します。	くまもとグリーン農業参加者のみで使用できる表示マーク(くまもtomar)を使い、農家及び消費者に対し、くまもとグリーン農業自体の周知を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明	熊本県と連携し、情報提供及び補助説明に努めている。合計認定件数1,776件、うち平成28年度認定件数は79件だった。周知については、広く行っており達成と判断した。
			1	41222	多様な機会を通じて農産物の地産地消の普及に努めます。	認定農業者を中心にイベントに参加し農産物の販売、PRを行い地産地消を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	市内で開催される各種イベントに認定農業者を中心に参加し、農産物の販売を行い、地産地消を図った。
3	41231	県、周辺市町、関係機関、被害地域と連携・協力しながら実効性ある(有害鳥獣による)被害対策を推進します。	平成23年度の農作物被害総額である15,510千円から平成28年度末までに被害額を50%減である7,755千円以下とすることを目標として、国、県及び市の事業により効果的な防護施設整備を実施するとともに、玉名市有害鳥獣捕獲隊に年間を通じた捕獲業務委託をすることにより有害鳥獣の個体数調整を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	県、周辺市町、関係機関、被害地域と一体となった被害対策を実施してきた結果、目標は概ね達成できている。しかし、有害鳥獣の生息地の拡大に伴う被害地域の拡大が懸念されており、継続した被害対策の推進を行う。			
1	41232	防護施設整備など(有害鳥獣による)被害軽減のための取組を図ります。	平成23年度の農作物被害総額である15,510千円から平成28年度末までに被害額を50%減である7,755千円以下とすることを目標として、国、県及び市の事業により効果的な防護施設整備を実施するとともに、玉名市有害鳥獣捕獲隊に年間を通じた捕獲業務委託をすることにより有害鳥獣の個体数調整を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	国の補助事業である鳥獣被害防止総合対策事業により広域的な防護施設整備を実施したことにより目標を達成することができた。しかし、被害地域が拡大しているため今後も事業に取り組み広域的な防護施設整備を推進していく。また、先進的な捕獲方法による有害鳥獣の個体数調整も併せて実施していく。			
3 農業基盤整備の推進	1	3	1	41311	基盤整備や農業用排水施設整備、農道整備などを推進し魅力ある農地づくりに努めます。	玉名市としては、補助事業を活用し、基盤整備により、区画等の整備を計画的に行い、その後農業用排水施設整備、農道整備を行い、優良な農地づくりに努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	団体営農業農村整備事業の平成28年度末執行状況は、落基盤整備事業全体事業費734,800,000円のうち、266,400,000円を実施している。圃場整備事業については、全体事業費1,074,000,000円に対して現在486,400,000円を累計して執行している。なお、農業基盤整備促進事業(農地耕作条件改善事業)においては、暗渠排水事業が地元要望に対して達成度が約39%となっている。
			2	41312	耕作放棄地の解消を進め、効率的かつ安定的な農業生産を目指します。	平成20年度から平成29年度の間、耕作放棄地の解消を促すため解消費用の一部を助成し耕作放棄地の解消を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	耕作放棄地解消対策事業が始まって8年経過して解消発生が進み、件数こそ減少しているが今後も継続する。
			1	41313	恒常的な浸水が毎年見受けられる地区は積極的な排水対策の実施に努めます。	玉名市に23排水機場がある。供用開始からすでに25年以上の機材が16箇所あり、平成25年度から年1機材の更新採択に努める。	8. 評価不能	状況の説明	香崎、横島は、県営にて事業実施中。適正化事業については、平成28年度に野口が採択されている。今後も老朽化や氾濫の危険性等を勘案し優先順位により、各排水機場更新に向けた国県補助要望確保を進めていく。
			2	41321	海岸保全施設の整備を推進します。	玉名市の海岸保全施設の整備として、玉名横島地区は、国営事業で、澄明・天水地区は、県営事業で継続的に整備を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	国営造成事業については、平成28年度までの進捗率60%であり、平成33年度完了予定である。県営事業については、平成28年度までの進捗率は、共和(84.2%)、高道(15.1%)、玉名海岸(30%)、※県営事業は、平成28年度農業農村整備事業管理計画の数値

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)							
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	期日	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)			
								項目	内容		
1	畜産の振興	4	1	41411	畜産農家への衛生管理の指導に努め、家畜伝染病の発生を防止を図ります。	平成26年度までの間、農業者の家畜防疫に要する経費の一部を補助し、発生時の被害が甚大な家畜伝染病を未然に防止する。	8. 評価不能	評価不能の理由	経費の一部補助は予算の範囲内で行う経常的業務である。その他家畜伝染病の未然防止に努めているが、その発生は予測不可能であるため具体的な数値的目標の設定が困難である。		
				41412	消費者の信頼を得る安心安全な畜産物生産の推進に努めます。	県、農協などと共同で飼料、器具、繁殖、ふん尿処理など品質と生産の向上に繋がる情報提供発信を行う。	8. 評価不能	評価不能の理由	概要が抽象的であり、数値的目標の設定が困難である。		
		5	1	41511	農業に関する情報発信の積極的な実施により、農業経営に意欲を持つUターンやIターンなど転入者の新規就農を促進します。	県、農協などと連携を密に取りながら農業に関する情報発信を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	新規就農希望者からの就業相談については、市と振興局が主な窓口となっている。必要に応じて、農協等の関係機関と連携して対応している。 H28年度中のUターン、Iターン希望者からの相談実績はない。		
				41512	多様な担い手の参入なども視野に入れ、地域との協働のもとに農業の受け皿づくりに努めます。	新規事業の実施により新規就農の増加を図る。また県、農協、地元農業委員の協力を得ながら、空き農地や園、県の補助事業の情報提供を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	青年就業付金事業(国庫補助事業)の実施により、農業後継者の就農や、新規参入者が就農する契機となっている。		
				41513	農業関係機関と連携し、認定農業者や農業後継者の育成を図ります。	担い手育成総合支援協議会(県、農協、農業委員会等)において、年度計画を作成し、認定農業者、農業法人、集落営農組合、新規就農者を支援、育成する。	2. 概ね達成	状況の説明	農業担い手の増加を目標に設定し、研修会等の実施もあり、認定農業者及び認定新規就農者の認定数は増加傾向にある。(認定農業者16件、内法人1、認定新規就農者2件)しほは高齢に伴う離農が見受けられる。		
		6	1	41611	補助事業などの制度を活用し、農産物の直売所を設置するなど農産物の販路拡大に努めます。	国及び県からの情報を収集し、関係団体等への情報提供を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	全国でもトップクラスの生産量を誇るイチゴ、トマ、みかんについては、関東・関西などの大消費地でのトップセールスや渋谷フェスティバル、ふるさと熊本・玉名フェアなどのイベントを開催し、地元農産物の消費拡大や知名度の向上に努めた。		
		7	1	41711	関連団体との連携による交流プログラムなどの開発を推進し、グリーンツーリズムの取り組み意向を持つ農家などの支援を図ります。	国、県から情報収集を行い、関係団体と連携し情報提供を行う。	6. 未着手	未着手の理由	関係団体と連携し情報提供を行ったが、取り組みを希望する農家が現れなかった。今後も引き続き、情報提供を行い、希望する農家があれば、関係団体と連携し支援を行う。		
		8	1	41811	林道の維持・保全や利活用を図ります。	林道としての機能を失った路線の廃止も含め、管理林道の再編を行う。林道の維持管理は業務委託を行うことにより利用者の安全を確保する。自然公園内にある林道は、公園利用者のための案内標識の整備を行い利便性の向上を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	林道の維持管理については、利用者の安全を確保できている。公園利用者のための案内標識については、関係団体等と設置面の検討を行い、随時整備中である。また、林道の再編については、検討中である。		
					2	41821	不正な山林開発行為の防止を図ります。	森林の土地の所有者となった旨の届出制度、伐採及び伐採後の造林の計画的届出制度及び林地開発許可制度等を円滑に実施し、制度違反者への命令及び処分等を徹底し、不正な山林開発行為の防止を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	県、関係団体等と山林のハローを実施し、不正な開発行為を防止を図っている。無届の伐採等が確認された場合には、所有者への聞き取り等を実施している。また、各種制度の周知を広報誌等を利用して推進している。
						41831	林業を通じた管理が困難な森林や管理放棄された人工林については、針広混交林化や広葉樹林化など、公益的機能の維持・増進を図り、健全な森林づくりに努めます。	玉名市森林整備計画に基づき公益的機能の維持・増進を図るため、国、県、森林組合等で相互に連携を密にし、森林の主伐、間伐、保育及び伐採跡地への植栽等、適確な森林の更新を実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成28年度が森林整備計画の更新の年であり、適切な森林整備の推進を図るため、玉名市の実状に応じた森林整備が効率的に実施できるように森林整備計画の更新を行った。
		2	水産業の振興	1	42111	県や各漁協と連携して、漁場の管理と資源管理を中長期的な計画を実施し、種砂、卵かん、稚魚の放流、有害物の駆除、堆積物の除去などの漁場環境の保全・整備を図ります。	県、各漁協と連携し、複数の補助事業を活用しながら漁場環境の保全・整備を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	水産環境整備事業を活用し種砂を行った。これらも中長期的な展望に経った漁場環境の保全・整備を行っていく。	
						42121	漁港などの漁業基地は、『水産基盤整備長期計画』に基づき整備を推進します。	「水産基盤整備長期計画」に基づき、施設の利便性と安全性の向上を目指し、漁港整備を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	「水産基盤整備長期計画」に基づき、大浜漁港(新港部分)の泊地ゆんせつを行い、所定の水深を確保して、船舶の航行・保留の支障回復を図った。
			2	漁業生産の向上	42211	水産物の生産性と品質の向上を図り、安全で安心な水産物の提供ができる漁場環境の整備を推進します。	各漁協と連携し、水産物の生産性と品質の向上を図り、安心な水産物の提供ができる漁場環境の整備を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	各漁協に対して補助金を交付し、漁場整備やアザリ稚貝や稚漁の漁場放流等を行うと共に、県と連携したアザリ生息状況調査や漁協と連携した漁港漁場施設の清掃活動を行った。	
						42221	稚魚放流事業の取組や魚類の産卵場の維持管理を促進し、河川本来の資源再生産力の復元に努めます。	菊池川漁業協同組合・菊池川流域市町と連携し、河川の資源再生に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	菊池川漁業協同組合・菊池川流域市町で連携し、繁殖保護・人工稚苗中間育成・外米魚、カワフ等の駆除・漁場管理対策等を行いながら河川本来の資源再生、生産力の復元に努めている。
		3	漁業経営の安定化の推進	1	42311	漁業者の高齢化対策や担い手の育成と確保のため、協業化を促進し生産体制の合理化を図ります。	県、各漁協と連携し、漁業者の高齢化対策や担い手の育成を進め、協業化し生産体制の合理化を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由	計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しいため。	
42321	補助事業の活用により(漁業)の生産体制の組織化を図るとともに、生産性の向上が図られるような共同施設の整備を推進します。				県、各漁協と連携し、生産体制の組織化を進め、生産性の向上のため共同施設の整備を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	水産基盤整備交付金事業により、滑石漁協の冷凍冷蔵庫の高圧電設備改修及び横島漁港物揚場の満潮時の水没解消のため嵩上工事を行った。			
3	製造業・工業の振興	1	新規企業の誘致	43111	市内6箇所の工場適地のPR活動を更に積極的に実施するなどして優良企業の誘致に努めます。	毎年度1社以上の新規企業の誘致又は既立地企業の増設協定の締結を目指す。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成26年度以降の新設・増設の協定はないが期間内に6件(7社)の新・増設協定を結んだ。近年、土地や屋根付き物件についての問い合わせはあるものの、条件に合う物件が用意できず、誘致には至らなかった。		
				43112	企業誘致拠点の有利性のある工業団地整備など、経済状況の改善など社会情勢の変化を見守りながら可否を判断します。	誘致しようとする企業が、どのようなインフラ整備を必要としているのか面談の中で情報収集に努める。	1. 達成(完了)	状況の説明	企業訪問の中で、提供できる土地を案内できず苦慮している。土地の確保とインフラ(特に下水処理関係)の整備は喫緊の課題であり、工業団地の整備は必要に迫られている。		

五名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)							
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H28年度末現在)	平成28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由				
							項目	内容			
2	地場企業・起業家の支援	1	43211	高度な技術を習得するための研修会やセミナーなどの開催を支援します。	先端技術波及促進協議会の市町会員として、研修会やセミナーへ参加することで、企業の技術習得に繋げる。	1. 達成(完了)	状況の説明	荒尾・玉名・鹿本地域の中小企業及び企業の活性化を図ることを目的に、城北先端技術波及促進協議会において交流を深めた。また、9月には「創業支援セミナー」を開催し、起業家への支援を行った。			
			43311	公共職業安定所などと連携し、若者の地元就業や失業者の再就業を支援し、雇用機会の拡大を図ります。	公共職業安定所を訪問し、市内の雇用情勢及び状況を把握するため、情報交換及び意見交換を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	玉名公共職業安定所を訪問し、熊本地震後における県内並びに玉名地域の雇用状況の把握に努めた。年度後半では、全国的に雇用情勢が改善されたことから、玉名地域においても有効求人倍率が1.4%と前年を上回った。			
			43312	若者の就業などの相談窓口である地域若者サポートステーションなども連携し、若い働き手の地元就業の機会拡大を図ります。	たまな若者サポートステーションと連携し、長期間にわたり仕事についていない若者の相談や支援プログラムを通しての社会参加を支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	玉名若者サポートステーションについては、広報たまなや市ホームページ等でニートやひきこもりなど就労が困難な若者に対し、周知を図ることで就労意欲の向上に努めた。			
			43321	企業が求める人材を育成するための研修会やセミナーを実施する団体を支援します。	玉名高等職業訓練校やポリテクセンターと連携し、人材育成に係る業務を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	玉名高等職業訓練校へ補助金を交付し、就業者のさらなる技能向上や知識等の習得を図ることで、企業が求める人材の育成並びに地場産業の支援につなげた。平成28年度については2名の入校者があった。			
			43322	企業が求める人材を育成するための学習機会の創出を図ります。(※研修会やセミナーを実施する団体の支援を除く。)	企業に求められる技能や資格を取得することで、目標を持って就労に取り組むよう指導する。	2. 概ね達成	状況の説明	近年、雇用情勢が改善し、有効求人倍率が向上したことから、技能向上に必要な資格を取得するための講習会等は実施していない。今後も雇用情勢の動向を勘案し、講習会等の実施を検討する。			
			43331	高齢者のニーズを踏まえた就業支援を実施します。	高齢者の雇用機会を拡大するためのシルバー人材センターへ補助金を支給し、高齢者等就業支援センターでは、技術習得や余暇充満の講座を実施する。	2. 概ね達成	状況の説明	シルバー人材センターへ補助金を支給し、センターへの運営安定を図った。高齢者就業支援センターでは、技術習得や余暇充満のための講座を開講した。			
	4 商業の振興	1 商店街・商業者の支援	1	44111	商業者などを対象にした各種研修会の開催(を推進します。)	商業者を対象に国の制度等の情報提供を行い、また、新たな事業を積極的に取り組み、商工業者の意識の向上や活性化を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	玉名商工会議所、玉名市商工会主催による専門の講師を招いた各種セミナーが実施されたため、市独自の講習会は実施しなかった。また、玉名市商工業振興連絡会を介し、国の動向や各種補助制度について情報提供を行った。		
				44112	経営支援、創業支援、市街地に点在する空き店舗や空き地の再生、活用など、商業の総合的な改善を推進します。	地域商店街の活性化を図るため、市街地に点在する空き店舗や空き地の状況を把握し、総合的な改善を推進する。	2. 概ね達成	状況の説明	平成28年11月に「キラリかがやけ創業セミナー」を開催し、参加者へ創業に必要な知識やノウハウを習得していただいた。毎週日曜日の午後から開催し、6名の参加があった。うち、1名は年度末にリバーサイド商店会で整骨院を開業された。		
				44121	商工会議所や商工会など関係団体を支援します。	経済団体の核となる玉名商工会議所、玉名市商工会を財政的に支援し、本市の商工業及び経済の発展に努める。	1. 達成(完了)	状況の説明	本市における経済団体の中核となる「玉名商工会議所」、「玉名市商工会」へ補助金を交付し、市内商工業者へ経営指導、経営支援を行うことで商工業の発展、振興につなげた。		
				44131	個性的で魅力的な商店街の形成や機能的な市街地空間の創出に努めます。	商店街のそれぞれの個性や特色を情報発信する方策を講じ、魅力的な商店街を形成する。	2. 概ね達成	状況の説明	熊本地震発生後、来訪者が低迷する中、地域のにぎわいを取り戻すため、市内4商店会が国の補助金(商店街にぎわい創出事業補助金)を活用したイベントが実施された。また、2商店会で「玉名市商店街イベント事業助成金」を活用し、地域の特色を活かしたイベントが開催された。		
				44132	商店街の空き地や空き店舗を有効に活用する方策を引き続き検討し、実施可能なものから適宜、実施します。	地域商工業の活性化に寄与するため、商店街に点在する空き地や空き店舗の有効活用を関係機関と連携し検討する。	2. 概ね達成	状況の説明	市内の4商店会において魅力ある商店街づくりを推進し、商店街の活性化を図るため、「玉名市商店街空き地空き店舗対策事業補助金」を活用し、飲食店や整骨院、パソコン教室を開業された。		
				2 商業活性化の推進	1	1	44211	玉名の恵みを取り入れたイベントを開催します。	イチゴ、みかん等の期間限定の農産物、水産物をイベントの中でPRし、玉名の地域資源を生かした商業の活性化を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明
44212	新たな顧客づくりのための支援を実施します。(※上記のイベントの開催を除く)	トマト、イチゴ、みかんなどを取り入れた玉名ブランド認定品パンフレットを作成し、新たな顧客確保を図る。	1. 達成(完了)				状況の説明	玉名市6次産業推奨品のパンフレットを作成し、東京や大阪での販売会や商談会などで配布PRをおこなった。			
44213	温泉や歴史、文化、まちなみなど玉名の地域資源を活かした商業の活性化を図ります。	「高瀬裏川花しょうぶまつり」、「玉名温泉まつり」などのイベントを継続的に取り組み、商業の活性化を図る。	1. 達成(完了)				状況の説明	高瀬裏川花しょうぶまつり、西部商店街夏祭り、玉名温泉まつり、また岱明・天水・横島の各地域の夏祭りが開催され地域活性化につながっている。			
2	1	44221	沿道緑化、街灯整備、ファサードなどの整備を推進します。			商店街が取り組む街灯整備等を積極的に支援し、安心・安全な街づくりを推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	地域住民の安心安全な生活環境を守るため、「商店街まちづくり補助金」の積極的な活用を促したが、整備計画がある商店会については前年度に概ね整備が終わっていることから、新たに取り組む商店会はなかった。		
		3	1			44231	地域のまちづくりと一体となった商店街づくりを推進します。	商店街の活性化に資する地域のまちづくりの一環として開催されている各イベントを支援する。	1. 達成(完了)	状況の説明	市内4商店会については国の商店街にぎわい創出事業補助金を活用したイベントが実施された。また、2商店会では「玉名市商店街イベント事業助成金」を活用し、地域の特色を活かしたイベントが開催された。また、玉名商工会議所が主体となった、「玉名納涼花火大会」は、約9万人の来場者で賑わいをみせた。
						44241	大型商業施設の跡地や市街地に点在する遊休地については、都市政策や街か居住を推進し市街地機能の充実を目指す。	大型商業施設の跡地は玉名市中心市街地活性化基本計画に沿って活用を図る。また、市街地に点在する遊休地は、今後の居住推進に向けた活用を推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	中心市街地活性化基本計画については新法での位置づけが多岐にわたることから、総合的な面から検討を行っている。また、市では「玉名市商工業振興基本条例」を策定し、今後商店会への加入を促すことで、商店街の活性化につなげる。なお、大型商業施設の跡地については、民間主導による活用を進めているところである。

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)					
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)		
							項目	内容	
5 観光の振興	1 広域観光ネットワークの推進	3 消費者の保護の強化	6 44251	食料品などの日常生活必需品の買い物などが容易にできるような、高齢社会にも対応した人にやさしいまちづくりを推進します。	生活必需品等の買物に不便を感じる高齢者が増えてきているため、市内の「買物弱者」における実態を把握するとともに、今後の対応と方向性を検討する。	6. 未着手	未着手の理由	平成28年度については、市内商店街の現状及び実態を把握するため、空き店舗調査を優先した。調査結果については今後の「買物弱者」を検討する中で、今後の対策に活用していく。	
			6 44261	にぎわいがあり人の生活に便利な商店街を目指して、店舗の共同化や協業化を支援します。	商店街各店舗の共同化や協業化を図ることにより、便利な商店街づくりを検討する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	共同化、協業化については具体的には進んでいないものの、大型店やナショナルチェーン店等との共存を考えると今後の課題として「玉名市商業振興連絡会議」の中で、検討を行っていく必要がある。	
			7 44271	商業地、商店街などで取り組む各種イベント事業や販売促進事業など、がんばる商店街を支援します。	市内商店街において各種イベントを開催することで、地域コミュニティとしての商店街づくりに取組み併せて販売の促進及び活性化に努める。	2. 概ね達成	状況の説明	44231と同じ	
			1 44311	関係団体と連携して市民の消費者トラブルの解消や消費生活における安全確保に当たります。	熊本県消費者施策の推進に関する基本計画(平成25年度～平成29年度)の目標である消費者被害の未然防止・消費者被害防止への適切な対応を推進するためにも、関係団体との連携により消費生活における安全の確保に当たる。	3. 進行中(後半)	状況の説明	引き続き地方消費者行政推進事業補助金を活用し、専門相談員を4人配置。増加する複雑多岐な相談に対応している。関係団体とも連携して消費生活の安全確保に当たった。	
			1 44312	(関係団体と連携して市民の消費者トラブルの解消や消費生活における安全確保のための)普及啓発を推進します。	熊本県消費者施策の推進に関する基本計画(平成25年度～平成29年度)の目標である消費者被害の未然防止・消費者被害防止への適切な対応を推進するために消費者に対して消費者トラブルの解消に向けた普及啓発活動を推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	引き続き地方消費者行政推進事業補助金を活用し、出前講座や広報等を通して啓発活動を行い、関係団体とも連携して消費者被害の未然防止に努めた。	
			1 45111	近隣市町をはじめ菊池川温泉郷など県北全域との連携を図り、魅力ある地域資源を活かした広域観光ルートの開発と商品化を図ります。	菊池川流域自治体と連携強化し、九州、関西等へ県北広域の観光PRを行い誘客を図る。また、島原半島等、歴史・物語や交通インフラ等をつなげる横軸に観光連携を拡大する。	1. 達成(完了)	状況の説明	県北一体となってスポーツツーリズムを軸としたアウトドア観光商品を新規開発し、福岡都市圏のメディアに対して共同PRを実施。また、有明・島原地域観光連携会議においては、有明フェリーを活用して全自治体による観光キャンペーンを実施し更なる連携強化を図った。	
			1 45121	観光振興基本計画を策定し、観光地間のアクセシビリティの向上や観光資源の整備に努めます。	観光振興計画を策定することで、玉名固有の資源を有効的・効果的に活用する手法を観光関係者と連携を図り確立する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成25年3月に「玉名市観光振興計画」を策定後、観光関連事業者を任意で定期的に招集する「玉名市観光戦略会議」において、観光戦略アクションプランの進捗状況の報告、事業の検証及び見直しを行い観光施策に反映させた。	
			2 45211	外国語標記も含めてすべての人に分かりやすい誘導サインなどの整備を図ります。	観光地や観光施設などへのスムーズな案内を促すため、多言語表記や、拠点施設におけるサインを整備する。	1. 達成(完了)	状況の説明	観光拠点施設及び屋外広告塔において緊急性の高い箇所については、新規設置・修繕を完了。平成28年度は、市内全体の観光関連のサインを目視確認し、老朽化・損傷程度の確認作業を行った。	
			2 45221	観光ホームページや観光パンフレットの内容の充実を図ります。	観光ホームページや観光パンフレットの内容の充実を図るため、着地型観光パンフレット、観光ターゲット別マップを作成する。	1. 達成(完了)	状況の説明	市HPの観光ページにおけるイベント・ピックアップの随時更新、年間を通して利用できる総合パンフレットの修正、更には旬な情報を提供する季節別のパンフレット作成、電子化を積極的に行った。	
			2 45222	玉名温泉街をはじめまじだつた観光地・観光施設、イベント・祭りなど新鮮で幅広い観光客のニーズに対応した情報の提供に努めます。	新鮮で幅広い観光客のニーズに対応した情報を提供するため、着地型観光パンフレット、観光ターゲット別マップを作成する。	1. 達成(完了)	状況の説明	本市の観光全般を案内した総合パンフレットの修正に加え、幅広い観光客のニーズと旬な観光情報を網羅した季節別のパンフレットを発行、着地型観光プログラムを案内したパンフレットを作成した。	
	2 45231	「観光ほっとプラザ『たまら』」を拠点として、玉名をはじめ県北地域の情報発信に努めます。	ターゲット毎のPRプランの設計、ターゲット毎の観光キャンペーン・観光セミナーの開催、福岡県・熊本県のメディアへの情報発信を行う。	1. 達成(完了)	状況の説明	昨年度に引き続き補助金、助成金、受託事業を積極的に活用し、県北の近隣市町と連携しながら本事業を推進。独自のポータルサイトを軸にICT及びSNSを活用した情報発信及び年中無休の観光案内所としての機能を十分に発揮した。			
	3 特産・物産品の開発と販路拡大	1	1 45311	玉名ブランド認定品を推奨します。	玉名ブランド認定品29品目を各種観光物産展において紹介、販売し、認知度の向上に努める。ラジオ、テレビ、雑誌の視聴者プレゼントなど、機会あるごとに提供し、認知度の向上に努める。	1. 達成(完了)	状況の説明	前年同様、「渋谷フェスティバル」、「関西ふるさとフェア」、「広島フラワーフェスティバル」など都市圏で開催されるイベントへ出展し、県外の顧客へPRすることで、玉名の認知度向上に努めた。また、その際に新聞やテレビ等の各メディアをとおし、広告宣伝や視聴者への商品提供を行った。	
				45312	新たに地域ブランド推進による地域振興を図ります。	今後の玉名の地域発展のための活動の御旗とするため、ブランドメッセージやロゴ等を市民提案型にて作成する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成25年3月に「玉名市ブランド化戦略プラン」を策定。企業のマーケティング手法を用いて「地域づくり・まちづくり」に応用。市民投票によるブランドロゴ・ステートメントを作成した。「キラリかがやけ」は、名刺のロゴや各イベント名の冠として活用。
				45321	販路拡大のため、ブランド認定品などを地域イメージと結びつけ県内外のイベント出展や商談会、チラシなどでPR活動を行います。	「玉名と言えば〇〇。」と言われるように、地域イメージとしての定着を目指し、各種イベントや物産展、商談会などに積極的に参加し、販路拡大に努める。	1. 達成(完了)	状況の説明	前年同様、「渋谷フェスティバル」、「関西ふるさとフェア」、「広島フラワーフェスティバル」など都市圏で開催されるイベントへ出展し、県外の顧客へPRすることで、玉名の認知度向上に努めた。
	4 観光資源の魅力創出	1	1 45411	健康志向が高まる中で薬草などの地域資源を使った観光商品の開発(に努めます。)	温泉、薬草料理等を活用し、九州看護福祉大、小笠山薬草の会、温泉組合等が連携し、美と健康をテーマにした観光商品開発を実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	年間を通して体験できる着地型観光商品の一つとして、美味しいヘルシー「オリジナルブランド」薬草茶づくりを商品化。	
				45411	玉名飯湯治場など九州看護福祉大学などとも連携を図り「玉名へまた来たい。」と思っただけのしるしみづくりに努めます。	九州看護福祉大学の鍼灸診療と玉名温泉の各旅館とが連携を図り、健康と癒しをテーマにした体験型観光の推進を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	「オリジナルブランド」薬草茶づくりによる着地型観光商品造成の商品化を受け、「美・健康・癒し」に特化したテーマ性の強い観光商品を作れないか、温泉組合並びに九州看護福祉大学鍼灸学科と協議中。
				45411	観光地や温泉旅館などでの「おもてなし」を通じ観光客のニーズを踏まえた玉名へのリピーター増加を促進します。	観光関連事業者向けに接遇やおもてなし力向上の講座を開催する。	1. 達成(完了)	状況の説明	観光課並びに県観光連盟と連携し、複数回の講義に参加した場合は、「おもてなし修了証」を発行する「おもてなしフォーラム」と個別講義を業種別に開催。

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)									
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	期 別	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々たる節)	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明 (H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)					
								項目	内容				
			2	45421	関西以西をターゲットに観光客誘致キャンペーンを展開し、誘客に努めます。	大阪、広島、福岡をターゲットに観光キャンペーンや観光セミナーを開催する。	1.達成(完了)	状況の説明	本市への誘客におけるターゲット地域である関西以西(大阪・広島・福岡)に対しては、特に重点的にキャンペーンを実施し、旅行会社との商談、メディアへの出演・情報提供、紙媒体でのPRに努めた。				
				45431	多様なメニューの商品化を目指しハード・ソフト両面での受け入れ態勢の整備を図ります。	観光の拠点施設におけるバス駐車場、トイレ、会議スペース等を整備する。	1.達成(完了)	状況の説明	昨年度に引き続き、観光拠点施設におけるハード面での整備は実施していないが、集客力のあるイベントでは、臨時バス駐車場の設置やシャトルバスの運行、仮設トイレの設置など受け入れ態勢の整備を図った。				
				45432	歴史、文化、自然、景観、食、スポーツ、環境など、あらゆる観光資源を活かした観光メニューの開発に努めます。	新しい観光素材を探すのではなく、すでにある観光資源をブラッシュアップし組み合わせることにより着地型観光商品開発を拡大させる。	1.達成(完了)	状況の説明	年々参加者が増加傾向にある着地型体験プログラム「旬たまWEEK」の開催を支援し、年間を通して体験できるプログラム作り着手。産学官連携をより強固なものとして実施。				
				45433	山間部や海岸部などの地域ごとの特色と産業を活かした体験型メニューも創出し、広域観光ネットワークの充実にも努めます。	健康志向の高まりに対応したウォーキングやトレッキング、また、県北唯一の海水浴場等の観光メニューを開発する。	1.達成(完了)	状況の説明	既存のJRウォーキング、草枕ウォーキングに加え、小岱山を活用したトレイルラン大会においては、宿泊につながる前夜祭を実施。フットパスコースにおいては、4コースを新規整備し、全5コースの造成を行った。また、県北連携によるスポーツツーリズムを推進するため、鍋原海水浴場においてビーチサッカー大会及びウォーターサバイバル大会を初開催した。				
				45441	各産業・各業種の団体などに対して観光協会への協力や加入を呼びかけ、幅広い視点をもった観光協会の充実を目指します。	観光関係のネットワーク化(観光関係団体との交流・連携、他地域の連携)、また、収益事業の一環として、法人格取得等協会の体制強化を図る。	1.達成(完了)	状況の説明	玉名観光協会は、平成26年度に一般社団法人としての法人格を取得後、観光振興の核となる主体的推進母体としての機能を担っている。新規会員の加入も増加しており、指定管理者としての観光ほっとプラザにまららの運営を行っている。				
				45451	玉名温泉観光旅館協同組合を中心に、観光協会、商工会議所、商工会、商店街などと一掃に活性化を推進します。	各観光団体において把握している観光素材を更に磨き上げるとともに、テーマを設定して各観光素材を組み合わせることで、新しい着地型観光商品を開発する。	1.達成(完了)	状況の説明	玉名市商工会・玉名観光協会・熊本県立大学・JTBコミュニケーションズ九州と産学官連携し実施している着地型体験プログラム「旬たまWEEK」に対し更なる磨きをかけているため、年間を通して体験できるメニューを新規開発。結果、参加者が倍増した。				
				5	国際観光への対応	1	45511	観光協会や温泉旅館などの関係団体と連携し、外国語表記のパンフレット作成や分かりやすい案内板などの整備を推進します。	多言語表記、着地型観光パンフレット、観光ターゲットマップを作成する。	1.達成(完了)	状況の説明	昨年度作成した多言語観光パンフレット(英語・韓国語・中国繁体字)に加え、県北地域(菊池市・山鹿市・和木町・玉名市)をまとめた多言語観光パンフレット(英語・韓国語・中国繁体字)作成に着手。県東域本部とも連携し訪日外国人観光客に向けた基本的な受け入れ態勢の整備を図った。	
				5	1	1	1	51111	支援が必要な方には、随時、保健、医療、福祉、教育、地域などの関係機関と連携を取り、健やかに暮らせるよう調整支援していきます。	支援が必要な方に関係各課や関係機関等と連携強化を図り調整支援に努める。	2.概ね達成	状況の説明	母子・成人など、年々支援内容が複雑、多様化し、ハイリスクな相談ケースが増えきており、随時、事例検討会等を実施し、関係機関と連携して調整支援した。
								51112	保健、医療、福祉、教育、地域などの関係機関と連携のしくみを充実させていきます。	市民には、その人に必要なサービスを調整支援し、ネットワークづくりとしては、有明地域保健医療福祉連携会議や玉名市健康づくり推進協議会等の場で相互連携強化を図る。	3.進行中(後半)	状況の説明	個人の相談に応じて、随時関係機関と連携した支援を実施。広域のネットワークとしては、子育て支援センターとの情報交換会や気になる子どもの支援会議等で相互連携を強化した。
								51113	市全体では、健康づくり推進協議会、食育推進連携会議、有明保健医療福祉連携会議などの活用により、関係機関の相互連携を図り、健康づくりの輪を拡充します。	健康づくり推進協議会、食育推進連携協議会等を通して連携の輪を広げ、市民の健康的な生活を支援する。	3.進行中(後半)	状況の説明	健康づくり推進協議会は、保健事業を円滑かつ効果的に行うための協議を行っている。情報の共有が図られ、関係者の理解が深まった。食育推進連携会議は、第3次玉名市食育推進計画を策定するため、食育推進の方向性や課題、対策等を検討し、関係機関と共有を図った。
51121	「心身に障がいを持つ人とともに生きる地域づくり」を目指し、地域活動を推進します。	障害者虐待防止法や熊本県障害のある人もない人もともに生きる熊本づくり条例を踏まえ、差別をなくし人権に尊重した地域をつくる。	2.概ね達成					状況の説明	障害者差別解消法の啓発活動を含め窓口にてチラシの配布、事業所を対象とした研修会を行った。玉名市職員対応要領を作成し職員研修を実施。				
51131	関係機関と連携して予防接種率の向上と安全な予防接種の体制づくりに努めます。	予防接種法に基づき関係機関と連携し、また対象者へ周知を図ることにより、適正および安全に予防接種ができる体制を整備する。	2.概ね達成					状況の説明	①玉名都市医師会・委託医療機関を対象に説明会を開催し、過誤防止等の適正な予防接種実施への関係機関への周知を図った ②個人別接種予約システム管理し予防接種台帳として管理し、過誤防止に努めた ③予防接種対象者に広報・育児学級、育児相談、乳幼児健診・教育委員会の協力を図り、啓発し接種勧奨を図った ④予防接種実施にあたり、委託医療機関の広域化を図ることで接種の機会を幅広く対象者の利便性に努めた。				
51141	幼児期からのフツ化物洗口による虫歯予防を推進します。	現在、玉名市内幼稚園・保育園26園中10園での実施(38.5%)公立保育所全園未実施の状況のため、全園実施を目指し推進活動を行う。	2.概ね達成					状況の説明	現在、玉名市内小中学校全校で実施。幼稚園・保育園26園中24園での実施。(実施率:92.3%)全園実施を目指し推進活動を行う。実施にあたっては歯科衛生士及び保健師による支援を年1回以上行っている。				
51142	壮年期における歯周病検診を実施します。	壮年期における歯周病検診を人間ドッグ、よい歯の広場、食育フェアにて継続的に行う。	2.概ね達成					状況の説明	壮年期における歯周病検診を人間ドッグ、よい歯の広場、食育フェアにて継続的に行う。				
51143	学校教育においては、児童・生徒の虫歯予防と健康教育を推進するため、食後の歯磨き習慣や必要に応じた虫歯治療を推進します。	すべての学校において健康教育全体計画及び年間指導計画、学校保健全体計画、学校保健年間計画を作成し、発達段階に応じた適切な保健指導を行う。	1.達成(完了)					状況の説明	平成25年度からすべての学校で健康教育全体計画及び年間指導計画、学校保健全体計画、学校保健年間計画を策定している。それに基づき、発達段階に応じた健康指導を行っている。				
51151	食生活改善推進員は、随時食や健康に関する研修により技量を高め、地元地区での伝達活動を実施し、市民に食と健康の輪を拡充します。	市民一人ひとりが健全な食生活を実践できるよう、推進員が食を中心とした健康づくりを地域へ普及・推進するためのボランティア活動が、充実するよう支援する。	2.概ね達成					状況の説明	塩分の摂り過ぎは生活習慣病に深く関わりがあるため、特定健診結果説明会での0.8%濃度の味噌汁試飲による、減塩の推進活動に努める。				

五名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)					
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	期	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
1 医療体制の充実			6	51161	家庭、保育所、幼稚園、学校、生産者、流通、消費者など多様な関係者との連携を深め、市民が食に関する正しい知識を身につけ健康的な食生活が実践できるよう取り組みます。	子どもから大人まで全てのライフステージにおいて、食に関する知識や理解を高めながら食べる力、生きる力を身につけ、実践できるよう、関係機関と連携、協力して食育を推進する。	2. 概ね達成	状況の説明	食育に関わる関係機関と連携し、H29年3月「第3次五名市食育推進計画」を策定する。五名市民が食を通して健康を考え、豊かな人間性を育むことを基本理念とする。市民が食育を実践できるようにライフステージ別の行動目標をたてる。
			7	51171	保健センターの機能を充実するため、安心して相談できる場の確保や支援するしくみと内容を充実するとともに、スタッフの質を向上します。	市民が安心して相談できるように各種事業における場の確保や周知、内容充実、スタッフの質の向上に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	母子から成人まで子育てや健康に関するあらゆる相談に対応できるような各種育児学級や健康相談、家庭訪問を実施した。また、スタッフの力量形成のため研修会や学会参加、自主学習会等自己研鑽に努めた。
			8	51181	事務事業見直しを適宜行い、住民に直接関わることでできる保健師と栄養士の地区担当制を充実させ、実態に即応した保健活動を実施します。	母子から成人まで必要な対象者に迅速に丁寧に関わりが持てるように、対象者把握に努め対応できるように事務事業の見直しに努める。また、地区診断による地域ニーズにあった保健活動の充実を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	保健師・栄養士ともに地区担当制をとり、母子から成人までの各事業において必要な支援の把握に努め、緊急性を動かし、タイムリーで適切な支援を心がけ、市民が安心して生活できるよう援助した。
			9	51191	気軽に相談できる体制づくりを強化し、相談支援事業所や関係機関などと連携をとり、心身の健康づくりを推進します。	既に着手している。今後も障がいのある人やその家族の悩みや相談に対処し、障害のある方の暮らしを支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	有明圏域相談支援事業所として社会福祉法人等に委託し、気軽に相談できる環境を整備している。
			A	511A1	総合的に対応する相談体制の構築を既に、自殺対策を推進します。	既に着手している。今後も啓発活動や相談支援を充実させ、自殺者の減少に取り組む。	2. 概ね達成	状況の説明	臨床心理士相談会を年18回開催し、心の健康づくりに努めた。
			1	51211	県保健医療計画に基づき、有明保健所、管内救急指定病院、医師会、消防関係などと連携を図り、夜間や休日の救急患者への対応体制の整備に努めます。	市民の健康と安心を確保するため、関係機関と連携し、夜間・休日の救急患者への対応体制を充実させる。	2. 概ね達成	状況の説明	障がいのある人やその保護者、介護者などの相談に応じ、必要な情報提供を行った。又市役所ロビーにおいて、週1回手話通訳の設置を行い、円滑にコミュニケーションを図ることができた。利用者の要望により手話通訳者の設置時間を延長を検討し、H29年度より実施。
			2	51221	公立玉名中央病院の医師を確保する対策の一助として、医師就学資金貸与制度の設立について関係機関に要望します。	公立玉名中央病院の医師を確保する対策の一助として、医師就学資金貸与制度を設立し医学生を確保できるよう関係機関に依頼する。	2. 概ね達成	状況の説明	各種福祉制度の適正な運用を図るため、「広報たまな」による周知や窓口での各種サービスの案内チラシ等を提供している。
			3	51231	ターミナルケアの充実のための議論を深めます。	ターミナルケアの充実のため、公立玉名中央病院において議論を深めていただくよう、適宜、要請する。	2. 概ね達成	状況の説明	療育の申請があった子どもに対して利用がスムーズに進むよう事業所と連絡を密に行なった。
				51232	公立玉名中央病院において、がんの治療法として手術や放射線治療と同様に、非常に有効な抗がん剤の使用による化学療法を公立玉名中央病院に要望していきます。	公立玉名中央病院において、がんの化学療法の充実を図っていただくよう、適宜、要望する。	2. 概ね達成	状況の説明	在宅の重度の身体及び知的障害児(者)が居る世帯に対し、自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図った。
			1	52111	家庭訪問、健康診査、育児相談、母子保健推進員活動などを実施し、ケースに応じた保健指導・支援により母子保健の向上を推進します。	乳幼児が健やかに発育発達し、保護者が安心して子育てできるように、あらゆる母子保健活動の中で、保護者の育児力形成へつなげる保健指導に努める。特に乳児訪問指導と各乳幼児健診受診率の向上・維持を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	在宅障害者の自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図るため、申請のあった住宅改修について予算の範囲内で対応している。
			2	52121	総合計画、食育計画、次世代育成計画、特定健康診査等実施計画を含む『健康玉名21・健康なまちづくり計画』を策定します。	玉名市に住むすべての人が、心身ともに健康で自分らしく暮らせるよう、各ライフステージ毎のヘルスプランと、地域全体の健康度を上げるための地域づくり施策を盛り込んだ計画を策定する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	成年後見人制度や権利擁護についての相談や啓発活動を実施している。
			3	52131	腎機能重症化防止を図り、慢性腎不全による透析導入への進行を阻止し、新規透析導入患者を減少させます。	人工透析導入への進行を阻止するため、慢性腎臓病(CKD)該当者への保健指導実施率の向上を図る。更に、慢性腎臓病予防のための啓発及び関係機関との連携を推進する。	1. 達成(完了)	状況の説明	民生委員・児童委員が高齢者への見守り活動を行えるよう65歳以上の世帯の情報を提供している。達成済み。
				52132	慢性腎臓病(CKD)に伴う循環器疾患(脳血管疾患、心筋梗塞など)の発症の抑制を図ります。	心血管系疾患(脳血管疾患、虚血性心疾患等)の重症化予防のため、高血圧・高血糖該当者への保健指導の実施率の向上を図る。更に、慢性腎臓病予防のための啓発及び関係機関との連携を推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年度、II度高血圧該当者に対する保健指導実施率は39.6%である。
	52133	各ライフサイクルに応じた長期にわたり進行する腎疾患を早期に発見するために、生涯にわたり継続して予防できる体制を整備します。	胎生期(妊娠前)から生活習慣病を予防するため、妊婦健診結果から妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群、貧血該当者への保健指導の実施を図り、若人健診等へつなげる。	3. 進行中(後半)	状況の説明	母子手帳交付時の聞き取りを通して、検査結果の説明や受診の必要性の説明を行った。また、健診を受ける機会がない親世代に対し、市で実施している若人健診、若人国保人間ドックの案内を実施した。			
4			52141	特定健診などの受診率の向上を図ります。	生活習慣病の発症予防及び重症化予防のため受診勧奨を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	各種団体及び広報等のあらゆる機会を通して、受診の必要性の説明を行った。また、18～39歳の市民を対象に若人健診及び若人国保人間ドック、保健指導を実施し、生活習慣病の発症予防に努めた。五名スタンプ金と連携し受診者へハローポイント100進呈し受診料の協力を得た。健診受診者への結果説明会の実施、未受診者訪問・重症化予防対象者訪問を実施した。	
			52142	がん検診などの内容の充実を図ります。	近年継続して死亡原因の1位を占めているがんを早期に発見し早期治療することで、手遅れによるがん死を防ぐため、より多くの市民への啓発を行ない、受診率の向上及び内容の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	健診対象者へ申込書の通知と広報たまな及びホームページに掲載、未受診者への再勧奨を実施した。また、課税者・非課税者の健診料の統一を行い、健診対象者に健診料の明確化を図った。	
			52143	特定健診の新規受診者の掘り起しを積極的に実施します。	脳血管疾患死亡率の減少、虚血性心疾患死亡率の減少、糖尿病腎症による新規透析導入患者数の減少のため、受診率の向上を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	校区区長や民生委員等の各種団体への説明、ひまわりテレビや市民課窓口での受診勧奨ムービー放映、医療機関への説明等を実施した。	
3 社会福祉の充実	1 子育て支援の充実	1	53111	延長保育事業、一時預かり事業、放課後児童健全育成事業などを推進します。	保護者の保育ニーズに対応し、延長保育や一時預かり事業を実施することで、子育てにおける負担軽減や仕事と子育ての両立支援を行う。就労等のため日中、保護者が家庭にいない小学生を放課後に学童クラブで預かり、適切な遊びと生活の場を提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	放課後健全育成事業については、全21小学校区を対象に13クラブで実施し、493人の児童が利用した。保育所・認定こども園23園中、延長保育事業は全ての園で、一時預かり保育事業(一般型)は6園で実施した。	

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)							
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画申請等の理由)				
							項目	内容			
2	障がい者支援の充実	2	53121	(子育て支援)の情報発信や相談の窓口となる地域子育て支援センターなどを中心に、子育て支援団体などのネットワーク化を推進します。	地域子育て支援拠点施設活動を軸とし、こぞでのわ会議の場を通じて子育て支援団体との情報の共有と発信を行うとともに、活動支援を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	市内6カ所の地域子育て支援センターでは、年間延び33,527人の利用があった。また、こぞでのわ会議を定期的に開催し、関係団体との連携と情報共有を図り、市民や関係団体向けに「子育てハンドブック」などを作成し、情報発信も行うことができた。			
			53131	ファミリーサポートセンターや病児・病後児保育など、子育てを支える事業の充実を図ります。	ファミリーサポートセンターや病児・病後児保育など、子育てを支える事業について、さらにニーズに応じた内容の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	ファミリーサポートセンターについては、24時間講習を実施して協会の員数の増加を図った。また、病児・病後児保育については、利用定員6人/日の受入体制を確保している。			
			53141	ひとり親家庭などの生活の安定と自立を目指して、多様な家庭環境などの現状をふまえた総合的な支援策の推進を図ります。	ひとり親家庭などの生活の安定と自立を目指して、多様な家庭環境などの現状をふまえて、必要に応じた総合的な支援策の推進を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	児童扶養手当の支給、ひとり親家庭等医療費の助成など生活支援のほか、自立支援として、資格取得のための給付金の支給やハローワークと連携した就労支援を行った。			
			53151	家庭児童相談・婦人相談事業などを通して、問題の早期発見やきめ細やかな対応を図ります。	家庭における適正な児童の養育その他児童福祉の向上及び女性相談窓口の周知を図るため、民生委員児童委員等の説明会や広報等により相談体制の充実を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由	各機関への説明会を行い相談窓口の周知は拡充されている。しかしながら、相談事業における相談件数の数値目標は設定できず、むしろ表面化していない問題事例の掘り起こしが必要であるため、さらなる相談体制充実が必要である。			
			53152	家庭だけでなく、保育所や学校、地域社会においても、子育てのための環境整備を推進します。	地域子育て支援拠点を中心に、保育所や学校なども連携を図りながら、子育て環境の整備に努める。	2. 概ね達成	状況の説明	市内6カ所地域子育て支援センターを設置している。そのうち4カ所の支援センターでは、子育てコーディネーターを配置し、相談等の総合窓口の設置や関係機関との連携を図っている。			
			53211	障がいのある方や家族が抱える相談に対応するため、有明圏域での相談支援事業や手話通訳者の設置を引き続き実施します。	既に着手している。障がいのある人やその家族の悩みや相談に対処し、障害のある方の暮らしを支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	障がいのある人やその保護者、介護者などの相談に対応し、必要な情報提供を行った。また市役所ロビーにおいて、週1回手話通訳者の設置を行い、円滑にコミュニケーションを図ることができた。利用者の要望により手話通訳者の設置時間を延長を検討し、H29年度より実施。			
			53221	各種福祉制度の適正な運用を図るため、「広報たまご」による周知や窓口照会への対応を徹底して実施します。	必要な福祉制度の情報を提供し、障がいのある人やその家族の暮らしを支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	各種福祉制度の適正な運用を図るため、「広報たまご」による周知や窓口での各種サービスの案内チラシ等を提供している。			
			53231	心身の発達に遅れや障がいあり、継続的な療育などが必要な子どもや家族に対して、子どもの年齢に応じた総合的な療育指導や助言を行う取組を推進します。	既に着手している。今後も早期発見早期療育を推進する。	2. 概ね達成	状況の説明	療育の申請があった子どもに対して利用がスムーズに進むよう事業所と連絡を密に行った。			
			53232	乳幼児期の保育や教育に携わるスタッフへの継続性ある支援体制の充実を努めます。	保育所などにおいても、発達障害や気になる子が増え、心理相談員を配置し、保育所などへの巡回相談や研修会、講座等を行い、スタッフの資質向上と支援体制の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	在宅の重度の身体及び知的障害児(者)が居る世帯に対し、自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図った。			
			53241	法律などに則った福祉サービスなどを提供しながら、今後も福祉の向上に努めます。	障がい者やその家族の生活を支援するために必要な福祉サービスを提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	在宅の重度の身体及び知的障害児(者)が居る世帯に対し、自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図った。			
			53242	障害者住宅改修事業などにより、住宅の確保や在宅生活での自立支援を実施するとともに、介護者の負担軽減を図ります。	65歳未満で、重度の身体障がい者等がいる世帯に対し、住宅改修に必要な経費を助成することにより在宅での自立を促すとともに、障がい者の寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	在宅障害者の自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図るため、申請のあった住宅改修について予算の範囲内で対応している。			
			53251	障がい者に対する市民の理解を深め、障がい者の権利を擁護するための施策を果と連携して推進します。	障がい者に対して正しく理解し、健常者とともに共同社会を築く。また、障がい者の基本的な権利が守られるよう関係者と連携を図りながら推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	成年後見人制度や権利擁護についての相談や啓発活動を実施している。			
			3	高齢者支援の充実	3	53311	介護を必要とする高齢者が適正な介護サービスを利用できるように介護保険制度の情報提供などを積極的に実施します。	包括支援センターやサービス事業者のケアマネジャーと連携を図り、広報や高齢者の集会等事業の周知などに努め、高齢者の生活を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	高齢者が生活するうえで、必要なサービスを包括支援センターやサービス事業者のケアマネジャーと検討しながら提供。また、市のサービスの内容の周知を包括支援センター主催のケアマネジャーの会議等で行っている。
						53321	清掃活動、独居老人宅訪問、神楽などの伝統行事への参加などの地域貢献活動を実施する老人会は、補助金の支給により支援します。	老人クラブは地域貢献活動を中心に地域のために活動している団体であるため、補助金の支給を含め支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	89件の単位老人クラブに各クラブの活動費として補助金を支給している。また、市老人クラブ連合会にも「ふれあいアンドヘルプ事業推進」や「健康づくり推進事業」等の全体活動のため、補助金を支給により支援を行っている。(平成28年度決算額:12,439千円)
						53322	個々の高齢者の経験や特技などを生かした就労の機会を提供するシルバー人材センターは、補助金の支給により支援します。	高齢者の雇用機会を拡大するためのシルバー人材センターへ補助金を支給し、センター運営の安定化を図る。もって、高齢者雇用の充実を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	シルバー人材センターの運営安定のため、事業補助金を支給し、支援を行った。(平成28年度予算及び決算額:21,000千円)
53331	介護の必要がない高齢者には、高齢者福祉事業などによる様々な高齢者福祉サービスを提供します。	高齢者の生活や介護の悩み・相談に対処し、適切なサービスの提供に努め、高齢者の生活を支援する。				2. 概ね達成	状況の説明	高齢者が生活するうえで、必要なサービスを包括支援センターやサービス事業者のケアマネジャーと検討しながら提供。また、市のサービスの内容の周知をケアマネジャー等の介護事業所への説明会を行っている。			
4	地域で支え合う体制の充実	4	53411	市の社会福祉協議会や民生委員・児童委員などにより地域による見守り体制と市の連携を進めます。	高齢者だけ(65歳以上)の世帯の情報提供。	1. 達成(完了)	状況の説明	民生委員・児童委員が高齢者への見守り活動を行えるよう65歳以上の世帯の情報を提供している。達成済み。			
			53412	災害時要援護者に対する支援では、災害に支援を求めた高齢者や障がい者などの実態把握、関係各種団体との連携や調整に努めます。	民生委員・児童委員に玉名市災害時要援護者避難支援計画(個別計画)票を配布し、実態把握に努める。	2. 概ね達成	状況の説明	要援護者に災害時要援護者避難支援計画に登録してもらったために民生委員・児童委員が地域で推進計画を継続し実施している。概ね達成している。			

五名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)					
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	期数	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
			2	53421	深刻な社会問題として近年急増し顕在化している児童虐待やドメスティック・バイオレンスを防止します。	要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会による関係機関の連携を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会の連携強化は着実に図られ、結果として、年間のケース検討会議が年々増加していることと表れている。今後は相談件数が増加の一途をたどる中、各関係機関の実務担当者のスキルアップを図ることで、一層スムーズな連携につなげていく。
				53422	高齢者の虐待を防止するとともに、様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	地域包括支援センター及び、介護保険サービス事業所・関係機関等との連携の強化により、虐待の防止と問題解決に向けた支援の構築を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	家族機能の低下及び、高齢化率の高まりに伴う、高齢者の経済的困窮による困難事例・虐待事例が増加している。専門性に基づく、支援解決と判断能力・迅速性が必要不可欠である。各機関との連携調整と市民への対応支援に努めていく。
				53423	障がい者などの虐待を防止するとともに、様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	障害者虐待防止法や熊本県障害のある人もない人もともに生きる熊本づくり条例を踏まえ、差別をなくし人権に尊重した地域をつくる。	2. 概ね達成	状況の説明	人権問題等の相談に対し、関係者や事業所と連携し、対応を行った。
				53424	様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	様々な人権問題を常に把握し対応するために、熊本県市町村人権啓発推進協議会や法務局、人権擁護委員などと連携を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	熊本県市町村人権啓発推進協議会に加盟して研修会等に参加し、連携を図った。また、法務局・人権擁護委員との連携のためくまもと県北人権啓発活動地域ネットワーク協議会五名分科会に参加し情報の共有を図った。
			3	53431	有償ボランティアによる移送サービスは、関係団体との調整を実施し充実に努めます。	道路運送法及び道路運送法施行規則等の規定の範囲内で、NPO法人、社会福祉法人等運送主体の先も含め充実に努める。	1. 達成(完了)	状況の説明	現在、NPO法人1社が運航事業を実施している。有償運送サービスの向上に力を入れており、初期の目的は達成したものと評価した。
		ユニバーサルデザインの推進	1	53511	すべての施策を展開する基本的な視点としてユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、	年齢や障がいの有無に関わらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインしていただけるよう啓発活動をおこなう。	2. 概ね達成	状況の説明	広報等を通じて啓発活動を行った。関係各課や地域の団体等と連携しながら推進する。
				53512	関係が深い障がい者団体などからの多様な意見を取り入れながら今後ともユニバーサルデザインを推進していきます。	多機能トイレ、使い勝手が良い自動販売機など年齢や障がいの有無に関わらず、だれもがさりげなく使えるユニバーサルデザインの推進を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	広報等を通じて啓発活動を行った。関係各課や地域の団体等と連携しながら推進する。
4	社会保障の充実	1 介護保険事業の充実	1	54111	高齢者のニーズに合わせて、地域密着型サービスなどの介護サービスの充実を図ります。	平成26年4月に地域密着型小規模多機能型居宅介護施設を1施設開設予定。平成27年度以降は、今後策定する第6期介護保険事業計画で高齢者等のニーズに合わせて計画する。	2. 概ね達成	状況の説明	平成26年4月に地域密着型小規模多機能型居宅介護施設を1施設開設した。また、平成27年3月に策定した第6期介護保険事業計画により、施設の整備を図りニーズに対応していく。
			2	54121	地域支援事業(任意事業)などの充実を図ります。	高齢者の生活や介護の悩み・相談に処し、適切なサービスの提供に努め、高齢者の生活を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	包括支援センターやサービス事業所のケアマネージャーと連携し、広報や高齢者の集会で事業の説明に努めている。
			3	54131	居宅サービスや施設サービスなどの介護サービスや介護予防サービスを提供します。	要介護認定や要支援認定を受けた高齢者に対し、適宜、きめ細かな居宅サービスや施設サービスなどの介護サービスや介護予防サービスを提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	施設サービスの入所待機者状況について施設と連携しながら情報提供してもらい調査を行っている。
			4	54141	「いきいきふれあい活動」や「介護予防体操」などの二次予防事業を実施し努めます。	平成24年度末で、「いきいきふれあい活動」83カ所、「介護予防体操」193カ所を実施。26年度までの第5期介護保険事業計画の目標をすでに達成している。行政区259地区のうち、地区公民館がない所もあるが、平成27年度以降は、今後策定する第6期介護保険事業計画で高齢者のニーズに合わせて計画する。	2. 概ね達成	状況の説明	平成28年度末で、「いきいきふれあい活動」111ヶ所、「介護予防体操教室」81ヶ所を実施。多くの地区で1次予防事業を推進している。
				54142	虚弱な高齢者を対象に通所や訪問型の運動・口腔機能改善のための二次予防事業を実施し介護予防に努めます。	参加者の機能向上のためのプログラムの実施により、できる限り要介護状態に陥らないよう努める。平成27年度以降は、今後策定する第6期介護保険事業計画で高齢者のニーズに合わせて計画する。	2. 概ね達成	状況の説明	特とく教室(通所型運動機能向上プログラム)を市内3カ所で4回11ヶ月実施。(1人あたり4ヶ月16日)参加者127名。運動器項目の改善率45%。口腔機能項目改善率54%であった。
			5	54151	地域包括支援センターの機能強化と充実に努めます。	包括支援センターの機能強化を充実し、連携強化を図り、高齢者の生活の悩みや介護に関する問題解決に努める。	2. 概ね達成	状況の説明	五名市包括支援センターとの連携により、高齢者の生活・介護に関する問題解決を図った。新規事業開始に向けての検討会を毎月行った。今後は、高齢者の増加に伴い包括支援センターの職員の機能強化・配置整備を図っていく。
		2 国民健康保険事業などの健全運営	1	54211	医療費抑制のため、ジェネリック医薬品の推進、被保険者の健康医療に対する意識の高揚などを図ります。	ジェネリック医薬品差額通知書の送付及びジェネリック医薬品使用希望カードの配布により、ジェネリック医薬品の使用を促し医療費の抑制に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	ジェネリック医薬品差額通知書の送付及び被保険者証の一斉交付の際にジェネリック医薬品使用希望カードの配布により、ジェネリック医薬品の使用を継続的に促し医療費の抑制に努めている。
			2	54221	受診率向上の取組を講じ、(国民健康)保険事業の推進を図ります。	特定健康診査の受診率は平成25年度40%、平成26年度45%、平成27年度50%、28年度55%と定め、申込方法を再見直し、受診動員の強化に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	特定健康診査H28年度受診率は35.4%であり、目標受診率には及んでいない。健診体制の見直し等も含めて受診率向上対策を検討する必要がある。
				54222	保健師などによる健診後指導を充実させ、(国民健康)保険事業の推進を図ります。	特定保健指導の実施率は平成25年度35%、平成26年度40%、平成27年度45%、平成28年度50%と定め、健診後の指導の充実を図り、早期治療、重症化予防に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	特定保健指導のH28年度実施率は42.0%であり、目標は達成できていない。早期治療、重症化予防、健診受診率の向上に向け健診体制を充実させ、保健指導を更に充実させる必要がある。
			3	54231	後期高齢者医療制度の円滑な事業運営を図るため、制度の周知に努めます。	毎月年齢到達者に対し制度説明会を開催し、制度内容を広報誌掲載やホームページ更新する。	7. 計画中止	計画中止の理由	人員削減に伴いこれまで開催していた説明会を中止。その分窓口での対応を徹底し周知に努めた。
			4	54241	五名市国民健康保険税滞納対策事業実施要綱により、短期被保険者証や資格証明書を発行し、また、被保険者との接触の機会確保に努めるなどして収納率の向上を図ります。	短期被保険者証や資格証明書発行時に税務課に取り次いで、滞納者との接触の機会確保に努め、収納率の向上を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	短期被保険者証や資格証明書発行時に税務課に取り次いで、滞納者と接触し、納税相談等を行い、収納率向上に努めた。

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)					
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	期日	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
1	大学を 活かし まちづ くり	3 国民年金制度の啓発	1	54311	年金制度の理解を深めるための情報提供や相談体制を充実し、制度の普及啓発を進めることで、対象者への適正な完全適用を目指します。	年金制度について更なる周知を図るため、広報誌掲載やホームページの更新をおこなう。また、ねんきんネットを活用した相談体制を充実させる。	1. 達成(完了)	状況の説明	年金制度について更なる周知を図るため、広報誌掲載やホームページの更新をおこなった。
				54411	要保護世帯の援助や自立支援を推進するため、庁内関係課や関係機関と連携した相談や援助・指導体制の充実に努めます。	特に庁外の関係機関、玉名公共職業安定所や玉名市社会福祉協議会等と連携を図り、要保護世帯の自立を促進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	生活困窮者担当部署(生活支援係)をはじめ関係機関(玉名公共職業安定所、年金事務所、警察署等)と連携した相談や指導体制に努め、要保護世帯の自立促進を図っている。
				55111	九州看護福祉大学をはじめ包括協定大学での公開講座の積極的な活用します。	関係各課において、包括協定を結んでいる九州看護福祉大学、崇城大学、熊本県立大学の公開講座を活用する。	1. 達成(完了)	状況の説明	毎年、九州看護福祉大学と人権啓発課で事業共催により、公開講座を実施している。
		2 大学施設の活用	1	55112	大学講師を招いた市民ニーズに合った各種講演会などを開催します。	関係各課において、包括協定を結んでいる九州看護福祉大学、崇城大学、熊本県立大学をはじめとする大学講師を招いた市民ニーズに沿った各種講演会などを必要に応じ開催する。	1. 達成(完了)	状況の説明	包括協定大学との連携を生かして、関係各課から講演会や研修会などへの講師派遣を要請している。
				55211	図書館、体育館、グラウンドなどの(九州看護福祉)大学施設の市民活用について、引き続き推進するよう要望していきます。	九州看護福祉大学に対して、市民のニーズに沿った大学施設の利用が円滑に図られるよう、必要に応じて大学に要望する。	6. 未着手	未着手の理由	九州看護福祉大学施設については、各種団体や事業所及び個人が直接申請し、利用されていることから、市から大学への働きかけ等は行っていない。
				55311	玉名の歴史、文化、観光などの地域資源を活用した市民と学生の交流事業を推進します。	玉名の地域資源を活用した市民と学生の交流事業を推進する。また、本市と九州看護福祉大学との連携協力に資するため大学への職員派遣を実施する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成27年度から産官学連携による「こくぼ運動実践講座」に取り組みなど、市民との交流や地域貢献が図られている。また、平成28年度も引き続き、大学への職員派遣を実施している。
		3 交流事業の推進	1	55321	保健師学生の地域看護実習や市保健師の現任教育などを通して互いに連携し、保健師や保健サービスの資質向上を図ります。	保健師学生の地域看護実習及び現任教育等の研修会等を通して、保健師スキル向上と保健事業のあり方や方向性を見直し検討する。	2. 概ね達成	状況の説明	九州看護福祉大学看護学科保健師課程の学生及び口腔保健学科の学生実習を通して、意見交換や地区報告会を行った。
				55322	行政と九州看護福祉大学の連携事業として実施していた健康フェアは、本来の住民への健康・食育に関する啓発の場とするため、今後、内容検討を重ね、より多くの市民に有効な真の健康づくりを図ります。	より多くの市民が参加し、意識を高める健康・食育フェアとするため、内容・場所・啓発方法等検討する。	2. 概ね達成	状況の説明	身心ともに健康づくりから、たまな食育フェアが開催され、安武信吾氏の食育講演会では、生きるための大切さを食を通して講演された。九州看護福祉大学の口腔保健学科、鍼灸・スポーツ学科の協力もあり、お口の環境チェックや健康チェックコーナーが設置され、効果的な食育啓発事業となった。
				61111	市民参加や市民協働の推進に関する方針や条例などの制定を検討します。	市民参加や市民協働を推進するための条例等を整備し、実現に向けた施策展開を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成28年9月に「玉名市自治基本条例」を制定し、広報たまなやホームページで周知を図るとともに、有効性を高めるための行動計画である「玉名市自治基本条例推進アクションプラン」を3月に策定した。
		2 市民協働の推進	1	61112	市民の市政に対する意見や要望を把握するため、市長との意見交換を行う場の確保を図ります。	市長との意見交換の場を設け、単年度ごとに計画し、実施を検討する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成28年度は、行政区等を単位とした市長と語る座談会を4回開催。また、高校生と市長の意見交換の場として「市長と語るうらまにランチ」を新たに設け、4回開催した。
				61121	地域自治区を単位として地域協議会などを通して協働のまちづくりを目指します。	協働のまちづくりの「よりどころ」となる指針等を策定し、実現に向けた施策展開を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成27年度末の地域自治区及び地域協議会の廃止に伴い、地域自治区単位の指針ではなく、「地域コミュニティ活動」について協働する市民、行政、議会三者の努力義務を条文化した玉名市自治基本条例推進アクションプランをH28年度末に策定した。
				61211	新たな公共を担うNPOやボランティア団体などの市民公益活動を応援するため、「市民活動情報サイト『たまりん』」の活用を促進します。	「たまりん」の活用を促すとともに、各団体による情報発信件数を150件/年以上とする。また、「たまりん」へアクセスした件数は15000件/年以上を目標にする。	5. 進行中(前半)	状況の説明	「たまりん」を活用した情報発信件数は376件であり目標に達したが、「たまりん」へのアクセス数は11,141件であり目標を下回った。
				61212	市民公益活動を応援するため、助成金制度の創設や公共施設の空きスペースを活用した市民活動センターの設置などの支援を検討します。	市民活動団体の意向を把握した上で、市民活動支援の拠点を設置する。	6. 進行中(前半)	状況の説明	市民の公益活動を応援するために創設した「キラリかがやけ玉名づくり応援事業補助金」を継続して運用した。市民活動センター設置に関しては、市民活動団体の意向調査も含め進捗は無かった。
				61221	玉名21の星事業も含め、コミュニティ活動、地域づくり活動に対する支援のあり方を検討します。	玉名21の星事業の事業主体である各校区のまちづくり委員会も含めた市民活動団体について、市民福祉の向上に資する分野を中心に財政的支援制度の創設を検討する。	1. 達成(完了)	状況の説明	11の市民活動団体に「キラリかがやけ玉名づくり応援事業補助金」を合わせて2,162,151円交付し、公益活動を支援した。
				61222	地域内住民と関係団体がともに活動する「校区コミュニティ協議会(仮称)」を設置についても検討します。	「校区コミュニティ協議会」設置に向けて、市役所内の関係課と協議調整を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	「校区コミュニティ協議会」に関する具体的協議は行わなかったが、「地域コミュニティ活動」について市民、行政、議会三者の努力義務を条文化した玉名市自治基本条例推進アクションプランをH28年度末に策定した。
3	2 市民公益活動の支援	1	61223	コミュニティづくりの拠点づくりとして既存施設の活用を推進します。	市民活動団体の意向を把握した上で市民活動支援の拠点を設置する方向で検討を進める際には、既存施設を優先して活用する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	市民活動の拠点整備について、既存施設の活用も含め具体的検討には至っていないが、市民活動団体の意向把握に向け検討した。	
			61231	産草に関する情報発信や普及活動を積極的に実施する市民団体を支援します。	小岱山産草の会をはじめ、上古開採委員会等の産草を活用した地域づくりを支援することで、商品開発等を促進し、独自性ある情報を全国に発信する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	地域おこし協力隊を配置し、小岱山産草の会と連携を図りながら、イベントや広報紙面、公民館講座等を通じて住民への産草の普及や市内外への情報発信を行った。また、玉名産草の星づくり協議会を立ち上げ、農林水産省の農村漁村振興交付金の交付を受け、商品開発等を行った。	
			62111	地域や学校、家庭、職場などあらゆる分野において、各組織と協働し、人権啓発の推進に努めます。	今後も毎年度、市内の小中学校を中心に法務局、人権擁護委員と連携し、「人権の花運動」を実施する。	2. 概ね達成	状況の説明	平成28年度は築山小学校において法務局、人権擁護委員と連携実施。花の種とメッセージを風船に付けて飛ばすことで、児童らに人権意識が芽生えたとともに、人権意識の輪が広がる。残り3小学校で実施予定。	

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)										
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	期日	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々節節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明(H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)						
								項目	内容					
3	男女共同参画社会の推進	1	1	男女共同参画社会の形成	62112	国、県や人権擁護委員会など関係機関との連携を強化し、『玉名市人権教育・啓発基本計画』の推進と迅速且つ的確な対応ができるような相談体制の充実を図ります。	「玉名市人権教育・啓発基本計画」に則した市民の人権問題解決のための意識の向上を図ったり、人権問題があった場合、すぐに解決できるように法務局や人権擁護委員会、庁内関係課とすぐに対応できるような体制をとる	1. 達成 (完了)	状況の説明 「玉名市人権教育・啓発基本計画」に沿ってその推進をしている。相談体制においては、相談内容を確認し法務局へ依頼したり、3ヶ月に1回開催される人権相談を紹介した。また、基本計画の改定に向けた市民意識調査も実施した。					
					62121	人権教育と啓発活動の充実を目指して、市の広報紙やホームページなどを掲載し、また、人権問題解決のための内容を広報紙に掲載する。	市のホームページに各人権課題に即した構成をして掲載し、また、人権問題解決のための内容を広報紙に掲載する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 市のホームページに人権問題(子どもや女性、障がい者など個別の事案に対する啓発)を掲載。ほかに法務局や県からの啓発に関する事項や3ヶ月に1回行う人権相談を広報紙に掲載した。					
					62131	人権問題への積極的な関心や態度、的確な技能などが日常生活の中で実践できるような啓発を推進します。	企業や地域において、人権問題に関心をもってもらい、人権問題解決のためのヒトを貸し出ししたり、要望に応じて啓発講座等を開催する。	2. 概ね達成	状況の説明 企業内の従業員に対して、人権問題に関する理解を深めるための講義等を、県や関係市等と連携して実施する。					
					62141	毎年12月4日～10日までの「人権週間」の期間においては、より一層市民への啓発を図ります。	人権週間期間中の1日間、市内の要所において街頭啓発を行う。また、期間中啓発用の横断幕を設置する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 毎年12月1日に、午前10時から午後3時まで人権相談を実施し、期間中には、早稲温泉でんすい、ゆとりーど、ふれあいセンター、玉名駅等での啓発のためのチラシ等を配布。他に人権週間期間中市役所横に横断幕を掲揚する。					
					63111	男女共同参画社会推進事業に関わる研修、相談業務、交流活動をはじめ、専門性の高い学習機会を提供します。	九州看護福祉大学との共催による講座の開催、県主催「男女共同参画地域リーダー研修」参加の推進。	1. 達成 (完了)	状況の説明 九州看護福祉大学との共催による講座を5回実施。県主催「男女共同参画地域リーダー研修」へ1名派遣。					
					63121	各種審議会などへの女性委員の登用を推進し、毎年女性登用状況調査と結果を公表します。	平成24年度末に策定した「第2次玉名市男女共同参画計画」に即して、平成29年度末までに女性委員の登用35%を目指す。	5. 着手	状況の説明 審議会等における女性登用率は、21.8%で、今後も目標値を達成できるよう啓発に力を入れていく必要がある。					
					63131	『玉名市女性人材リスト』の作成と積極的な活用を図ります。	玉名市に在住する女性の人材の発掘と各種審議会等への人材情報の提供を図る。	1. 達成 (完了)	状況の説明 女性人材リスト登録者は、2名新規登録、1名辞退があり21名。IPK揭示板において各課へ周知を図り、各種委員選任の際、リストの情報提供を行った。					
					63132	玉名市男女共同参画審議会、玉名市男女共同参画社会行政推進委員会により、男女共同参画社会の形成に向けた総合的な企画と効果的な施策を推進します。	玉名市男女共同参画審議会により、男女共同参画社会の形成の促進に関する基本的・総合的な施策などを調査審議し、玉名市男女共同参画社会行政推進委員会により、施策を総合的・効果的に企画し推進する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 男女共同参画審議会3回開催 行政推進委員会1回開催 行政推進委員会(専門部会)3回開催					
					63141	平成24年度に『第2次玉名市男女共同参画計画』を策定します。	平成24年度に『第2次玉名市男女共同参画計画』を策定する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 平成25年3月に策定した。					
					63151	「男女共同参画宣言都市」として周知することで、今後の更なる施策の推進を促し、男女共同参画社会の実現に向けた機運を醸成させます。	男女共同参画社会の実現に向けた機運を醸成させるため、「男女共同参画宣言都市」を周知し、男女共同参画を推進する体制作りに取り組む。	6. 未着手	未着手の理由 市民の男女共同参画に関する意識は、徐々に高まってきているものの、まだ成熟途上の状況にあるため。					
					63152	(男女共同参画社会づくりについて)講演会や講座や広報紙などを活用した啓発活動を実施することで、広く市民への理解を得られるよう努めます。	男女共同参画社会づくりについて広く市民への理解を得られるよう、引き続き、講演会、講座、広報紙などによる啓発を実施する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 啓発講座9回開催 男女共同参画フォーラム1回開催 広報10回掲載					
					63211	男女共同参画社会推進のための機能的な拠点施設を確保します。(男女共同参画センターの開設を除く。)	庁舎移転に伴い、拠点施設の位置や規模等について平成28年度末までに具体的な検討を行う。	6. 未着手	状況の説明 既存の公的施設の中への拠点設置を念頭に、公共施設適正配置計画を考慮しながら関係課との協議が必要であり、具体的な場所や規模等は確保できる施設状況による。					
					63212	男女共同参画センターの開設を目指します。	平成29年度末までに男女共同参画センターを開設する。	5. 着手	状況の説明 既存の公共施設へセンター機能をもつ拠点を設置するため、関係課と協議を実施。今後条件の合う施設を見極めながら検討を行っていく。					
					4	情報公開の推進	1	1	情報公開の充実	64111	インターネットによる議会映像の放映を推進します。	市民の市政への参加意識を高め、また、議会をより身近なものとするよう、インターネットによる議会映像の放映を実施する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 本会議の議会映像のインターネット放映をH19年度から行っており達成している。
										64121	情報公開請求には素早い対応を図ります。	公文書が容易に把握できるような仕組みを構築し、また、情報公開事務の画一的な運用を図るために職員研修を実施する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 保存文書台帳により、各課の公文書の保存状況を引き続き把握している。また、平成28年度に入庁した新人職員向けに係長級以上の職員向けにそれぞれ情報公開事務についての研修を実施した。
64131	議事検索システムの構築により、事務の効率化を図ります。	使いやすく解りやすい議事検索システムの構築により、事務の効率化を図る。	1. 達成 (完了)	状況の説明 平成24年2月から庁内LANによる議事録検索システムにバージョンアップし、事務の効率化を図っている。										
64211	個人情報の収集や利用にあたっては、利用目的を明確に説明するとともに、原則として、本人からの事前の同意を得ることとする。	個人情報については、住民票・戸籍の発行や住民異動などは原則として本人申請となっている。来庁が不可能な場合には本人からの委任状の提出を求めていく。また、委任状による代理人の確認も常にこなしている。	1. 達成 (完了)	状況の説明 証明書の発行や異動事務など、なりすましの申請が無いように本人確認を徹底した。										
64221	個人情報保護を更に推進するために、適切な取り扱いを徹底し、個人情報保護意識を強化します。	個人情報保護事務の画一的な運用を図るために職員研修を実施する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 平成28年度に入庁した新人職員向けに係長級以上の職員向けにそれぞれ個人情報保護事務についての研修を実施した。										
64311	広報紙は、行政情報だけではなく地域の話題なども盛り込むように努め、市の情報発信力を高めます。	現在の毎月2回、1日と15日号の広報紙を発行している。しかし市民への関心で確かな行政情報を市民へ提供し、情報集約化を行うため、月1回(1日号)の発行を目指し、さらに市民へわかりやすく工夫を凝らした広報紙を作成する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 お知らせ記事だけでなく、適宜特集記事を組むなどして紙面を充実させた。また、記事の配置位置を見直すなどわかりやすいページ構成とした。										

五名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)					
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	期日	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標(H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H28年度末現在)	平成28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由(H28年度末の状況)	
								項目	内容
5	行政運営の効率化	1 健全な財政の運営	1	64321	ホームページは、効果的かつ利便性を重視した情報発信を推進します。	総務省のホームページのガイドラインをふまえて、さらに工夫をこらし、ホームページへの100万アクセス数を超えるよう努める。また平成27のホームページリニューアルに伴い、市内外からの閲覧者に対してさらに魅力ある情報発信となるよう作成する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成28年度のトータルアクセス数は前年度を上回り200万件を超えた。アクセシビリティに留意し、閲覧者がわかりやすい記事の作成に努めた。
				64322	記事を作成する職員の意識と技術の向上に努めます。	ホームページの記事作成に関する基礎研修などを、毎年、ホームページ委託業者を講師に迎え、関係職員の研修を行う。	3. 進捗中(後半)	状況の説明	平成29年2月に委託業者を講師に迎え、4回に分けてホームページ操作研修を実施。今回は初級編中級編に分け、職員のスキルに応じて実施した。また、操作方法だけでなく、広報担当から情報発信に対する意識啓発を行った。
				65111	自主財源の一層の確保を図り、行政評価制度と予算編成を連動させることにより予算の適正な執行と事務事業の見直しを実施します。	計画期間中(平成24～平成28年度)財政構造の改善を行い、財政健全化を推進する。 【値目標の設定】 経常収支比率:各年度90%以下	2. 概ね達成	状況の説明	事務事業見直しにより経常経費の削減に取り組んでいるが、職務経費において扶助費の伸びと公債費の高水準での推移が必要である。 経常収支比率:28年度は7月確定見込(参考)H26年度 89.9%、H27年度 88.2%
		65112	中長期的な展望に立った施策の推進に取り組み健全な財政の運営を図ります。	計画期間中(平成24～平成28年度)長期財政見直しを作成し、普通建設事業の計画的な実施など中長期的な展望に立った財政運営を行う。 【目標の設定】 長期財政見通しの作成:各年度更新	2. 概ね達成	状況の説明	普通建設事業の計画的な実施など中長期的な展望に立った財政運営を行うため、平成28年1月に長期財政見直しを更新した。		
		65113	基金を計画的に運用し健全な財政の運営を図ります。	計画期間中(平成24～平成28年度)基金の計画的な運用を行い、財政健全化を推進する。 【数値目標の設定】 財政調整用基金残高が標準財政規模に占める割合:各年度20%以上	2. 概ね達成	状況の説明	平成28年度は、積立てが5億7,800万円に対し取崩し額が8億8千万円と、残高が3億円減少し62億円となったが、数値目標は上回っている。近年予算規模が増大し取崩し額が多くなっているため、歳入に合わせた財政規模を構築して取崩し額を抑え、可能な限り積立てを行い計画的な運用を継続していく。		
		2 行政経営の推進	1	65211	総合支所から支所への移行を検討し、住民にわかりやすい本庁と支所組織の機能のあり方を検証します。	平成24年10月に総合支所から支所に移行し、従前の行政サービスの水準が低下しない機能性や効率性等の面を十分に検討した組織へと再編する。また、本庁と支所間の所掌事務の適切な分掌を行うとともに、第2次定員適正化計画で定める職員の削減数を着実に達成する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成24年10月に総合支所から支所に移行した。また、第2次定員適正化計画の職員削減目標も達成した。
				65221	行政評価の効果的な活用のため、事務事業の成果を客観的に検証することにより経営意識の向上を図ります。	昨年度(23年度)の試行運用を経て24年度から本格運用し、評価の対象とされる全ての事務事業について、事後評価を実施する。事前評価は、従前のとおり、事業費下限額を上回る全ての事務事業を対象に実施する。更に職員の経営意識を向上するために、市民意識調査等の外部評価の導入を検討する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成27年度に完了。平成28年度に市民3千人を対象としたアンケート調査(市民満足度及び重要度調査)を導入し、また平成27年度には、市民や有識者等の第三者委員で構成する外部評価委員会の設置や市ホームページ上で評価結果の公表など効率的な行政運営や客観性や透明性が高い行政評価制度を構築してきた。
				65231	職員は、採用後の一定期間に幅広く各行政分野を経験させます。	計画期間中も、これまで同様、入庁後ある程度の期間までは、基本的に3年を一つのサイクルとして人事異動を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	概ね3年を人事異動を実施している。
				65232	県などとの人事交流を進めるなど計画的な人事配置や人材育成を実施します。	他の自治体や団体への派遣や人事交流を推進する。	1. 達成(完了)	状況の説明	県との人事交流や派遣等を継続して実施している。
		65241	電子入札の導入に取り組みます。	電子入札の導入は、システム導入の経費と業者への導入調査結果などを十分に検討したうえで、平成27年4月をめどに導入する。	1. 達成(完了)	状況の説明	すべての工事及び工事関係業務委託の指名競争入札事務を電子入札システムを利用して行えるようになった。		
		65242	価格のみでなく技術力も考慮して落札業者を決定する総合評価方式の実施に努めます。	公共工事の品質確保を図るために価格のみでなく技術力も考慮して落札業者を決定する総合評価方式を対象案件がある場合に適宜実施する。	8. 評価不能	状況の説明	一般競争入札において総合評価落札方式を1件導入した。評価項目や配点などについて学識経験者の意見聴取を行い公示したが、仕様書に不備が発覚し、競争入札によれないと判断して取り止めた。公募型プロポーザル方式に切り替えている。		
		3 職員の計画的な人事配置と育成	1	65311	合併後の10年間は、退職者数の3分の1を新規採用しながら、定員の適正化を図ります。	職員の新規採用は、平成28年4月までは、退職者数の3分の1とする。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成28年度(平成28年4月1日現在)をもって終了した。目標数値であった平成28年4月1日の職員数504名に対し、実績値501名となった。
65321	『人材育成基本方針』に基づき、引き続き職員の能力開発を積極的に推進します。			職場内研修の推進と職場外研修の充実を図り、自己啓発への支援を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	職場外研修を充実させており、結果として間接的に職場内研修の推進や自己啓発の意欲向上に繋がった。		
65322	人事評価の結果を適材適所の人事配置や公正な処遇につなげることで、職員の意欲向上と個々の能力・組織力の向上を図ります。			人事評価の結果を職員の公正な処遇や意欲向上につなげるために、結果の活用方法について引き続き検討する。	1. 達成(完了)	状況の説明	人事評価は平成24年度から本格実施しており、平成28年度から昇任の1要素として活用した。		
65323	住民ニーズ、政策課題、職員構成などの変化に柔軟に対応するため、適宜、効果的職員研修を実施します。			階層別の基礎研修や選択研修など、今後も研修全般に注力し、内容の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	研修事業は新任研修を熊本市町村職員研修協議会に委ね、当市では現任研修を行っている。また、平成28年度からは第3次職員研修基本計画に基づき、研修を通じた人材育成に取り組んでいる。		
4	行政施設の整備と有効活用	1	65411	財政的に有利な合併特例債の適用期限である平成27年度までの完成を目途に新庁舎の建設を推進します。	平成25年度は庁舎本体の建築工事に着手し、敷地の造成工事を行う。平成26年度は、12月までに本体工事・外構工事を完了し、平成27年1月の新庁舎での移転開庁を行う。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成27年1月5日から新庁舎にての業務を開始している。	

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成28年度末の状況)[H29年度10月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成29年度調査事項(H28年度末の状況)					
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	編 号	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H28年度末現在)	平成28年度末の進捗状況の説明 (H28年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
				65412	本庁舎の跡地は、これまでの検討結果を参考にし、有効な利活用策を検討します。	関係部署職員で構成する庁内検討組織を24年度中に設置し、約1年の検討期間を設け、効率的、効果的で実効性が高い利活用策を市長に提案する。また、平成26年度には、玉名市本庁舎跡地等活用検討委員会を設置し、本庁舎跡地及び建物の有効活用についての活用の基本方針と具体的活用策を市長の諮問に基づく答申を得る	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成27年度に玉名第1保育所の建替えや子育て支援施設及び交流施設の新築、文化センターの改修などを含めた一体的な整備のための構想を策定したが、関係する予算案が市議会において否決となり、その後の計画は白紙となっている。現在は駐車場として活用。今後、跡地の活用については、様々な意見を聴取した上で進める必要がある。
			2	65421	各総合支所は、市民サークルやボランティア団体などが実施する事業の拠点施設として提供するなど、有効利用を図ります。	既存及び新庁舎完成によって生じる支所庁舎の余裕スペースは、公共施設の機能集約をはじめ公共的団体の活動拠点として提供するなど利活用を進め、維持費の軽減や自主財源の確保を図る。具体的には、岱明支所の空きスペースについて、新庁舎への機能移転(平成27年1月)後、速やかに着手できるよう調整する。	2. 概ね達成	状況の説明	岱明支所については平成29年1月に3階有明広域行政事務組合事務所がオープンし、2階図書館の改修が終わった。また、天水支所については公民館との複合施設を建設し、機能集約をする方向で事業が進行している。今後、施設の空きスペースが生じた場合には、国や県とも連携しながら、有効活用を進めていく。
			3	65431	『公共施設マネジメント白書』を作成します。	用途毎に分類した市保有の公共施設(約120施設)を対象に、各施設に関する実態を分析、評価し、課題や問題等を白書として、平成23年度末までに整理する。この白書を24年度に策定予定の適正配置計画の基礎資料として活用する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成23年度に公共施設マネジメント白書を策定した。
				65432	平成24年度までに『公共施設配置計画』を策定し、適正な配置と整備を推進します。	今後の公共施設の適正配置を考えていく上での基本的な方向性についての検討組織である検討委員会を設置し、市に建議される内容を十分に踏まえた適正配置計画を24年度末までに策定する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成24年度に公共施設適正配置計画を策定した。